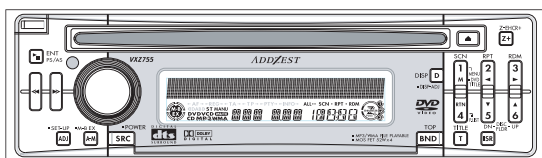


ADDZEST

DVD/VCD/CD/WMA/MP3 センターユニット

VXZ755

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書には、本機で操作するMDデッキ、CD/MDチェンジャー、TVチューナーの操作説明も含まれています。CD/MDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目次

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

■主な特長

主な特長	6
------------	---

■ご使用前に

安全に正しくお使いいただくために	8
安全上のご注意	9

■取扱上のご注意

本体のお手入れについて	11
ディスプレイについて	11
表示画面について	11
エラー表示について	11
DCP(Detachable Control Panel)部の取扱いについて	11
CD/DVDの演奏について	11
モニター画面について	11
本機で再生できるディスク	11
DVDビデオの特長	12
リージョン番号について	13
ドルビーデジタルについて	13
DTSについて	13
DVDビデオのメニューについて	13
商標等について	13

本機の操作

■各部の名称とはたらき

(付属)リモコン(RCB-171)の使いかた	14
本機を操作するボタン	18
外部機器を操作するボタン	20
システムチェック/スピーカー設定時のディスプレイ表示	21
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	21
各種設定/調整時のディスプレイ表示	22
モード別ディスプレイ表示	24

■基本の操作

DCPの取り外しかた	28
DCPの取り付けかた	28
電源を入れる	29
ソースを選ぶ	29
音量を調節する	29
時刻を合わせる	30
表示を切り換える	31
タイトル表示を切り換える	32
タイトルをスクロールさせる	33
重低音をON/OFFする(マグナベースEX機能)	33
音質を簡単に設定する(Zエンハンサープラス機能)	34
Z エンハンサープラス効果を調整する	35
センタースピーカー出力の音量を調節する	35
サブウーファー出力の音量を調節する	36
音質を調整する(バス/トレブル)	36
バランス/フェダーを調整する	38

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ	39
受信バンドを切り換える	39
自動選局する(シーク選局)	39
手動選局する(マニュアル選局)	40
プリセット選局する	40
プリセットメモリーする	41
自動メモリーする(オートストア機能)	41
放送を確かめる(プリセットスキャン)	42
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	42

■DVDを見る

ディスクを入れる	43
ディスクを取り出す	43
すでに入っているディスクを再生する	43
ディスクを再生する	44
DVDメニューを選ぶ	44
再生を停止する	45
一時停止する	45
スロー再生する	45
チャプターのスキップ(頭出し)	45
早送り/早戻しする	46
チャプター/タイトル番号で頭出しする <リモコン操作のみ>	46
タイトルメニューを使う	47
言語を切り換える <リモコン操作のみ>	48
アングルを切り換える <リモコン操作のみ>	48
字幕を切り換える <リモコン操作のみ>	49
字幕を消す <リモコン操作のみ>	49
再生状態を表示させる <リモコン操作のみ>	49
リピート再生をする	50

■CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて	51
ディスクを再生する	52
演奏を止める(一時停止する)	52
最初の曲から聴く(トップ機能)	53
曲を選ぶ	53
早送り/早戻しする	53
フォルダ/プレイリストを切り換える <本体操作のみ>	53
トラック/フォルダ番号で頭出しする <リモコン操作のみ>	54
画面上のトラックを選ぶ <リモコン操作のみ>	55
プレイリストを選択して曲を演奏する <本体操作のみ>	55
演奏状態の表示を変更する <リモコン操作のみ>	56
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	56
聴きたいフォルダを探す(フォルダスキャン演奏)	57
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	57
フォルダ内の曲を繰り返し聴く(フォルダリピート演奏)	57
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	58
全フォルダの演奏をランダムに聴く(フォルダランダム演奏)	58

■ビデオCDを見る

ディスクを再生する	59
ビデオCDメニューを選ぶ	59
再生を停止する	60
一時停止する	60
スロー再生する	60
トラックのスキップ(頭出し)	61
早送り/早戻しする	61
トラック番号で頭出しする <リモコン操作のみ>	61
音声出力を切り換える <リモコン操作のみ>	62
スキャン再生	62
リピート再生	63
ランダム再生	63
再生状態を表示させる <リモコン操作のみ>	63
再生操作(PBC)をON/OFFさせる <リモコン操作のみ>	64

■メニュー言語等の初期設定を変更する

セットアップメニューを選ぶ	65
画面サイズを設定する(TV DISPLAY)	67
テレビタイプを設定する(TV TYPE)	68
アングルマーク表示を設定する(ANGLE MARK)	68
音声言語を設定する(AUDIO)	69
サブタイトルの言語を設定する(SUBTITLE)	70
DISC MENUの言語を設定する(DISC MENU)	71
カントリーコードを設定する(LOCALE)	72
パレンタルレベルを設定する(PARENTAL)	73
パスワードを設定する(PASSWORD)	74
スピーカーの有無を設定する(SP-SEL)	75
スピーカーの出力レベルを調整するかどうかを設定する (SP-GAIN SET)	76
スピーカーの出力レベルを調整する(SP-GAIN)	77
スピーカーのディレイ時間を調整する(DELAY)	79
ダイナミックレンジを調整する(DRC)	80
ドルビープロロジックデコードの処理を設定する(Dolby PL)	81
ダウンミックスを設定する(DOWN MIX)	82

■タイトルをつける

タイトルを入力する	83
イージーインプットをする	85
タイトルを削除する	86

■画面の設定を変更する(ディスプレイアジャストモード)

設定項目を選ぶ	87
スクリーンセーバーを設定する(SCREEN SVR)	88
メッセージ入力を設定する(MSG INPUT)	88
タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROL)	89
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)	89
ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)	90

■設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ	91
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)	92
ローパスフィルターを設定する(SUB-W LPF)	92
内蔵アンプを設定する(AMP CANCEL)	93
チューナーエリアを設定する(TUNE AREA)	93

TVエリアを設定する(TV AREA)	94
TV受信時のステレオ/モノラルを設定する(TV ST/MONO)	95
TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)	96
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	96
携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENSE)	97
システムチェックを開始する(SYSTEM CHK)	97

外部機器の操作

■CD/MDチェンジャーを操作する

チェンジャーモードを選ぶ	98
聴きたいディスクを選ぶ	98
曲を選ぶ	99
早送り/早戻しする	99
演奏を止める(一時停止をする)	99
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	100
聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)	100
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	101
1枚のディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	101
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	101
全ディスクの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	101

■MDデッキでグループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする	102
グループ編集MDを演奏する	102
グループを切り換える	103
聴きたいグループを探す(グループスキャン演奏)	103
1つのグループを繰り返し聴く(グループリピート演奏)	103
全グループの演奏をランダムに聴く(グループランダム演奏)	103

■テレビを見る

TVモードを選ぶ	104
受信バンドを切り換える	105
自動選局する(シーク選局)	105
手動選局する(マニュアル選局)	105
プリセット選局する	105
プリセットメモリーする	105
自動メモリーする(オートストア機能)	106
放送を確かめる(プリセットスキャン)	106
ビデオを見る	106

■携帯用オーディオを聴く(AUXモード)

AUXモードに切り換える	107
--------------------	-----

その他

システムアップについて	108
CeNETケーブルについて	109
故障と思われる前に	110
エラー表示について	112
仕様	113
アフターサービスについて	裏表紙

主な特長

本機は、AM/FMラジオとDVD/CD/MP3/WMAデッキを内蔵し、別販のMDデッキ、CD/MDチェンジャー、TVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の1DINセンターユニットです。

■ DVDビデオ、音楽CD、MP3、WMA、ビデオCD再生機能

- NTSC方式、リージョン番号2の表示されたDVDビデオディスク、ビデオモードで録画されたDVD±R/RWディスクおよび音楽CD、MP3、WMA、ビデオCDを再生できます。

ビデオモードで録画、ファイナライズしたDVD±R/RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性・傷・汚れ等により再生できない場合があります。

VRモードや、パケットライト方式で録画されたディスクは再生できません。

■ マルチアングル、マルチストーリー再生機能

• マルチアングル機能

DVDビデオディスクに複数のアングル(角度)で撮影された映画が収録されている場合は、お好みのアングルで映画を見ることが出来ます。

• マルチストーリー機能

DVDビデオディスクは、1本の映画のなかにいくつかのストーリーが収録されている場合には、お好みのストーリーを楽しむことができます。

■ DTS/ドルビーデジタル対応

- 本機は5.1チャンネル製品です。DTS音声を含む5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを、そのままの音声でお楽しみいただけます。

■ 高品位24ビット、D/Aコンバータを採用

- D/Aコンバーターには、96kHz24bit 6チャンネル高性能D/Aコンバーターを搭載

■ 拡張性豊かな入出力端子類を装備

• 2系統の映像出力機能

後席などのモニターにも接続することができます。

■ MP3/WMA再生機能

- MP3フォーマットで記録したCD-ROM、CD-R/RWが再生できます。
- ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEOに対応。
- MP3のID3Tag対応
- WMA-Tag対応

■ フロントパネル

- 盗難防止として取り外し可能(DCP=Detachable Control Panel)

■ 表示部

- 大型高輝度LCDディスプレイ採用

■ メッセージインフォメーション機能

- スクリーンセーバーの1つとしてお好みに合わせてディスプレイを表示可能(英・数・カナ30文字1パターン)

■ 52W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力52W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ Z-エンハンサープラス機能

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITE、の3パターンの音質効果をメモリーし、お好みの音質を即座に設定できます。
- 2バンド(LOW/HIGH)のパラメトリックイコライザーにより周波数帯域毎に、お好みの音質に調整することが可能です。

■ 6chアウトプット(RCA出力)

- フロント2ch、リア2ch、サブウーファー2ch(サブウーファー出力2chは、フルスピーカー(5.1ch)設定の場合にはサブウーファー出力とセンタースピーカー出力となります。)
- サブウーファーは、50/80/120HzのLPF(ローパスフィルター)付き

■ マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 30局の放送局名入力機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■ タイトル表示・入力機能

- ラジオ、TVの放送局やCDチェンジャーのCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

■ 携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- ポータブルMD等が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

■ リモートコントローラー対応

- 付属のリモコンで主なオーディオ操作が可能

■ **CeNET** (Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器を接続する場合も中継ボックスが必要ありません。
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

■ MDデッキコントロール (別販品接続時)

- スキャン/リピート/ランダム機能
- グループ編集MD再生機能付デッキの場合は、グループ機能で編集されたMDを、グループ単位で行うスキャン/リピート/ランダム演奏機能

■ CD/MDチェンジャーコントロール (別販品接続時)

- CDタイトル入力機能
- スキャン/リピート/ランダム機能
- ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム機能

■ TVチューナーコントロール (別販品接続時)

- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 20局の放送局名入力機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

ご使用前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



❶ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

- 安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意**■使用上のご注意****⚠ 警告**

- **走行中は運転者による操作をしない…**
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる…**
- **走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…**
運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。
- **本機を分解したり、改造しない…**
事故や火災、感電の原因となります。
- **ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…**
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…**
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- **本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…**
専門技術と経験が必要です。



■ご使用の前に

注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



- ディスク挿入口に手や指を入れない・・・

ケガの原因となることがあります。



- ディスク挿入口に異物を入れない・・・

火災や感電の原因となることがあります。



- 本機を車載用以外には使用しない・・・

感電やケガの原因となることがあります。



- アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない・・・

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



- 樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



- 電源を切るときは、音量を最小にする・・・

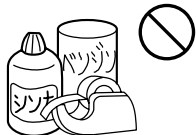
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。
常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(112ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

DCP(Detachable Control Panel)部の取扱いについて

- DCP部は精密部品ですので、DCPを落として、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。
- DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

CD/DVDの演奏について

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CD/DVDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

モニター画面について

- ディスク再生またはテレビを見る等のとき、モニター画面を自動的に切り換えることはできません。DVDビデオ等を見る場合は、あらかじめモニター側の入力切換を「ビデオ」に切り換えてください。切換方法は、接続モニターに付属の「取扱説明書」をご覧ください。

本機で再生できるディスク

本機が再生できるディスクは、次の通りです。

DVDビデオ



ビデオCD



音楽CD



DIGITAL AUDIO TEXT

■取扱上のご注意

●CD Extraディスク

CD Extraディスクとは1セッション目がAudioセッション、2セッション目がDataセッションの計2セッションが記録されているディスクです。個人作成によるDataセッションが2セッション以上記録されているディスクは、再生できません。

※CD Extraディスクの場合は、1セッション目が認識されます。

●DVD±R/RWディスク

●本機は、ビデオモードで録画されたDVD±R/RWを再生できます。

※ビデオモードで録画、ファイナライズしたDVD±R/RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性・傷・汚れ等により再生できない場合があります。

●VRモードや、パケットライト方式で録画されたディスクは再生できません。

●CD-R/CD-RWディスク

●本機は、音楽CD、MP3/WMAフォーマット、ビデオCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生できます。

※ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクでは、再生するまでの時間が長くなります。また、記録状態によっては再生できない場合もあります。

●再生できないディスク

- DVD-Audio、DVD-RAM、フォトCDなどは本機では再生できません。
- スーパーオーディオCD(SACD)は、再生できません。またハイブリッドディスクの場合でもCD層の再生はできない場合があります。
- ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

■取扱い上のご注意

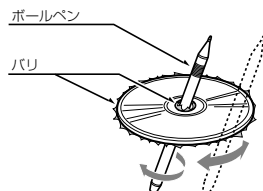
●CD-R、CD-RW、DVD±R/RWは、通常の音楽CDやDVDビデオに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。

●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。

●レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

DVDビデオの特長

DVDビデオは、透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現できるハイクオリティデジタルビデオです。12cmのディスク1枚で、映画なら1本分、音楽なら4時間を再生することができます。またDTS、ドルビーデジタル5.1chサラウンドで、劇場並の迫力と臨場感を再現することができます。

本機は、DVDビデオの高画質・高音質を再現できることはもちろん、次のような特長を持っています。

- 以下に説明する機能は、DVDビデオディスクにより、収録されている言語、字幕、アングルなどが異なります。詳しくは、DVDビデオディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、本書で説明している機能とは異なる場合があります。

●マルチ音声機能

DVDビデオディスクは、1本の映画の中に最大8つの言語を収録できますので、お好みの言語で映画を見ることができます。

記録されている音声の数: 


●マルチアングル機能

DVDビデオディスクに複数のアングル(角度)で撮影された映画が収録されていれば、お好みのアングルで映画を見ることができます。

記録されているアングルの数: 

●サブピクチャー(字幕)機能

DVDビデオディスクは、1本の映画のなかに字幕スーパーなら最大32カ国語まで収録できますので、お好みの字幕で映画を見ることができます。

記録されている字幕の数: 

●マルチストーリー機能

DVDビデオディスクは、1本の映画のなかにいくつかのストーリーが収録されている場合には、お好みのストーリーを楽しむことができます。操作方法はディスクによって異なりますが、再生中に、ストーリー選択の指示に従って操作してください。

リージョン番号について

DVDディスクは、発売地域ごとにディスクとプレーヤーにリージョン番号(地域番号)が割り当てられています。

日本で再生できる番号は、「ALL」と「2」です。(または「2」を含むもの)

ディスクのリージョン番号は、ディスクのジャケットに表記されている下に示すマークを確認してください。



ドルビーデジタルについて

ドルビーデジタルは、最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一システムです。

DTSについて

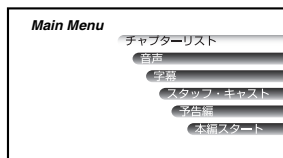
DTS(Digital Theater System)は、デジタルシアターシステムズ社の開発した音声圧縮技術です。低圧縮のためデータ量が多く、高音質の再生が可能です。

DVDビデオのメニューについて

DVDビデオ再生時にディスクに記録されているメニュー画面を呼び出すことができます。

本機では、このメニュー画面に従ってお好みのシーンまたは案内情報等を見ることができます。

(メニュー表示例)

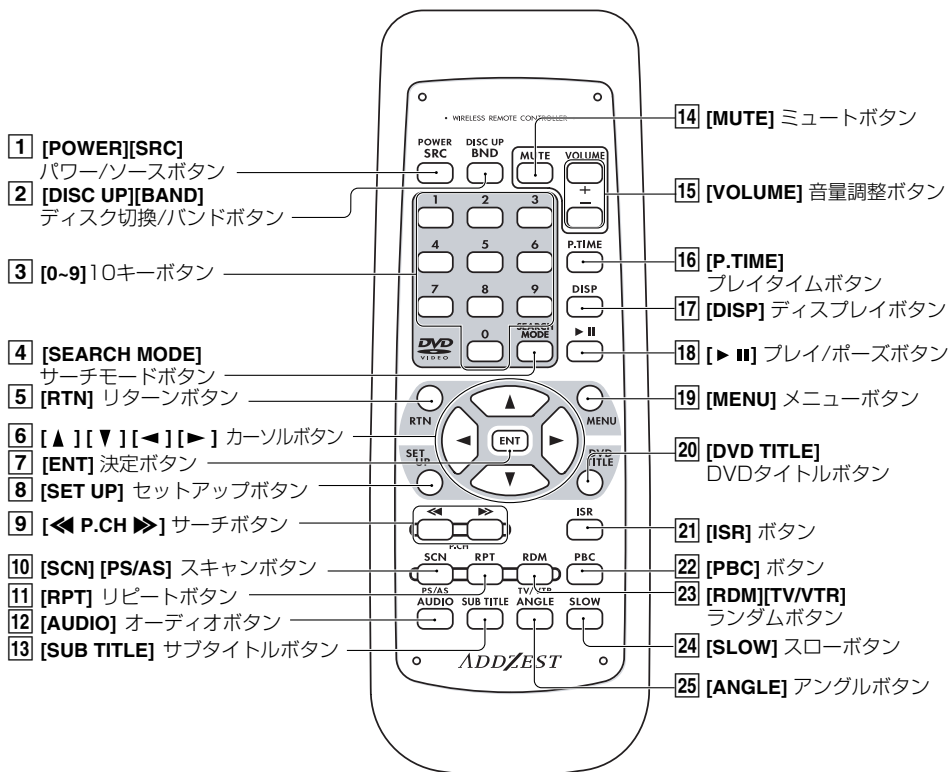


商標等について

- 本機には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法、クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバーシエンジニアリングや分解は禁止されています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー, Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- “DTS”及び“DTS Digital Surround”は米国Digital Theater Systems社の登録商標です。

各部の名称とはたらき

(付属)リモコン(RCB-171)の使いかた



1 [POWER][SRC] パワー/ソースボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↑
AUX ← (TV) ← (MDチェンジャー) ←

- 押し続けると(約1秒間)、電源が切れます。

2 [DISC UP][BAND] ディスク切換/バンドボタン

<ラジオ/TVモード時>

- 受信バンドを切り換えます。

<DVDモード時>

- DVDでは、先頭のチャプターに戻ります。
CDでは、先頭の曲に戻ります。

MP3では、フォルダの1曲目に戻ります。

<チェンジャーモード時>

- ディスクを切り換えるときに使用します。

3 [0]～[9] 10キーボタン

- 数字を入力します。

**4 [SEARCH MODE]
サーチモードボタン**

- サーチモードボタンを押した後、10キーボタンで番号を入力します。
 - DVDビデオ : タイトル/チャプター番号で頭出します。
 - MP3/WMA : フォルダ/トラック番号で頭出します。
 - ビデオCD : トラック番号で頭出します。(PBC OFFのとき機能します)
 - CD : トラック番号で頭出します。

5 [RTN] リターンボタン

- 一つ前のメニュー画面に戻ります。

6 [▲][▼][◀][▶] カーソルボタン

- モニター画面に表示されるメニュー項目を選択するとき、カーソルを上下左右に動かします。

7 [ENT] 決定ボタン

- 設定した項目を実行するときに押します。

8 [SET UP] セットアップボタン

- 本機の設定画面を表示します。

9 [◀◀ P.CH ▶▶] サーチボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- 場面や曲の頭出しをします。
 - 押した回数だけ先の曲、前の曲を演奏します。押し続けると(約1秒間)、早送り/早戻しをします。
- <ラジオ/TVモード時>
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。

10 [SCN][PS/AS] スキャンボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- スキャン演奏します。
 - 押し続けると(約1秒間)、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
- MP3/WMAでは、フォルダスキャン演奏をします。

■解除

もう一度、スキャンボタンを押します。

<ラジオ/TVモード、プリセットスキャン時>

- プリセットした放送局を確かめられます。
- <ラジオ/TVモード、オートストア時>
- 押し続ける(約2秒間)と、放送局を自動的にメモリーします。

11 [RPT] リピートボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- 繰り返し演奏します。
 - 押し続けると(約1秒間)ディスクの繰り返し演奏をします。
- DVDでは、タイトルリピート演奏をします。
- MP3/WMAでは、フォルダリピート演奏をします。

■解除

もう一度、リピートボタンを押します。

<TVモード時>

- ステレオ/モノラルに切り換えます。

12 [AUDIO] オーディオボタン

- DVDビデオ : 音声の言語を切り換えます。(設定が複数ある場合のみ)
- ビデオCD : 音声の出力方法を切り換えます。

13 [SUB TITLE] サブタイトルボタン

- 字幕の言語を切り換えます。

14 [MUTE] ミュートボタン

- 消音します。

15 [VOLUME] 音量調整ボタン

- +側を押すと音量が大きくなります。
- 側を押すと音量が小さくなります。

■各部の名称とはたらき

16 [P.TIME] プレイタイムボタン

- プレイタイム表示を切り換えるときに使用しません。

17 [DISP] ディスプレイボタン

- 「タイトル表示」、「時計表示」を切り換えます。
- タイトル表示中に押し続けると(約1秒間)、タイトル表示を切り換えます。
 - CDテキスト再生時は、「ユーザータイトル」→「ディスクタイトル」→「アーティスト名」→「トラックタイトル」を切り換えます。
 - MD再生時は、「ディスクタイトル」→「グループタイトル」→「トラックタイトル」を切り換えます。

18 [▶II] プレイ/ポーズボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- 演奏を一時停止します。
- 押し続けると(約1秒間)、再生を停止します。

19 [MENU] メニューボタン

- DVDビデオ : DVDビデオに記録されているメニューを表示します。
- ビデオCD : PBC ONのとき、ビデオCDメニューを表示します。

20 [DVD TITLE] DVDタイトルボタン

- DVDビデオ : タイトル画面を表示します。

21 [ISR] ボタン

- モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます(約2秒間)。
- 元のモードに戻すには、もう一度ISRボタンを押します。

22 [PBC] ボタン

- プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDのPBC機能をON/OFFします。

23 [RDM] [TV/VTR] ランダムボタン

<DVD/チェンジャーモード時>

- ランダム演奏をします。
- 押し続けると(約1秒間)、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。
MP3/WMAでは、フォルダランダム演奏をします。

■解除

もう一度、ランダムボタンを押します。


<TVモード時>

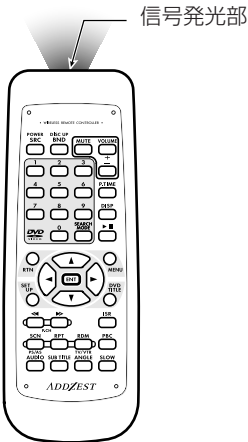
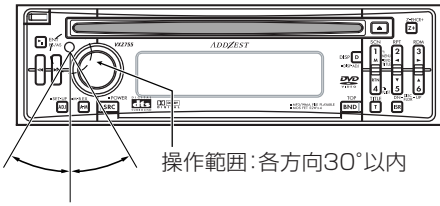
- TV/VTRを切り換えます。

24 [SLOW] スローボタン

- ボタンを押し続けている間、スロー再生を行います。

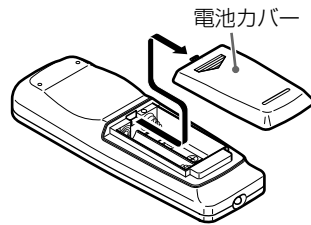
25 [ANGLE] アンクルボタン

- 複数のアンクルが記録されているDVDディスクを再生時、アンクルを切り換えます。
( が表示中)

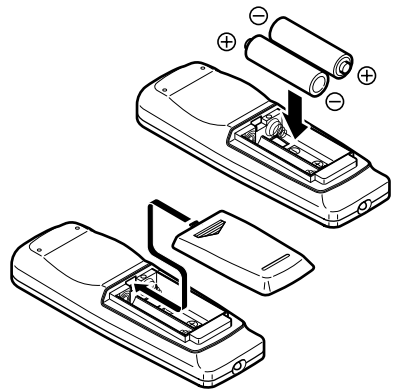


■ 電池の入れかた

1 電池カバーを開ける



2 付属の単3形電池2本を、内部の⊕⊖表示に合わせて入れ、電池カバーを閉める



ご注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン



リリースボタン

- DCPを取り外すときに使用します。



プレイ/ポーズボタン

- DVDモード時は、演奏の一時停止をします。また、各種設定の決定をします。
- DVDモード時は、押し続けると(約1秒間)再生を停止します。

プリセットスキャンボタン

- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。



サーチボタン

- ラジオモード時は、選局に使います。
- DVDモード時は、チャプターの選択または選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。
- アジャストモード/ディスプレイアジャストモード時は、項目の選択に使います。



ロータリーボリューム

- 音量を調整します。
- アジャストモード/ディスプレイアジャストモード時は、各種の設定に使います。



アジャストボタン

- 各種の設定や調整をするアジャストモードに切り換わります。
- DVDモード時に、押し続けると(約1秒間)セットアップメニューを表示します。



オーディオモードボタン

- 音質とバランス/フェーダーを調整します。
- 押し続けると(約1秒間)マグナベースEX機能をON/OFFします。

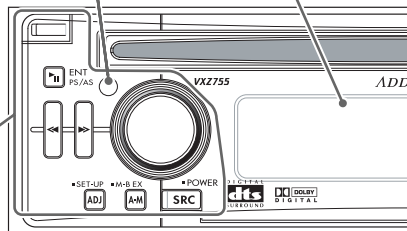


ソースボタン

- 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)

ディスプレイ部
選局/演奏状態の各情報を表示します。

リモコン受光部



バンドボタン

- ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続けて(約1秒間)自動選局か手動選局に切り換えます。
- DVDモード時は、最初の曲またはチャプターを再生します。(トップ機能)



タイトルボタン

- CD/MP3/WMAディスク再生時は、タイトル表示を切り換えます。また、タイトル表示中に押し続けると(約1秒間)タイトルをスクロールします。
- ユーザータイトル表示中に押し続けると(約1秒間)タイトル入力モードを表示します。



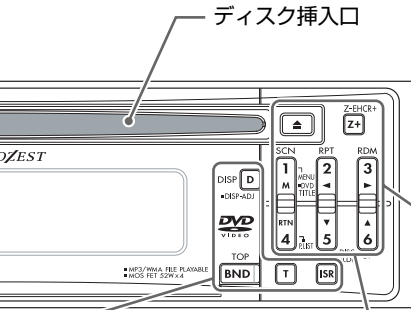
ISRボタン

- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)



ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。また押し続けると(約1秒間)画面の設定や調整をするディスプレイアジャストモードに切り換わります。



ディスク挿入口



イジェクトボタン

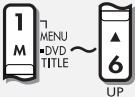
- ディスクが入っているときに押すと、ディスクがイジェクトされます。



Zエンハンサーボタン

- 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。またお好みに合わせて調整できるカスタム機能を備えています。

SCN



ダイレクトボタン

- ラジオ時は、放送局をメモリーして直接呼び出します。

SCN



スキャンボタン

- CD/MP3/WMAディスク再生時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- MP3/WMAディスク再生時は、押し続けると(約1秒間)フォルダスキャン演奏をします。

メニューボタン

- DVDビデオ再生時は、DVDメニューを表示します。また押し続けると(約1秒間)DVDタイトルを表示します。
- ビデオCD再生時(PBCがONのとき)は、ビデオCDメニューを表示します。

RPT



リピートボタン

- DVDモード時に、繰り返し演奏します。
- MP3/WMAディスク再生時は、押し続けると(約1秒間)フォルダリピート演奏をします。
- DVDビデオ再生時に、押し続けると(約1秒間)タイトルリピートをします。

RDM



ランダムボタン

- CD/MP3/WMAディスク再生時にランダム演奏をします。
- MP3/WMAディスク再生時は、押し続けると(約1秒間)フォルダランダム演奏をします。



プレイリストボタン

- プレイリスト入ディスク再生時は、押し続けると(約1秒間)プレイリスト機能をON/OFFします。



ディスク選択ボタン

- MP3/WMAディスク再生時は、フォルダを切り換えます。
- プレイリスト入ディスク再生時は、リストを切り換えます。

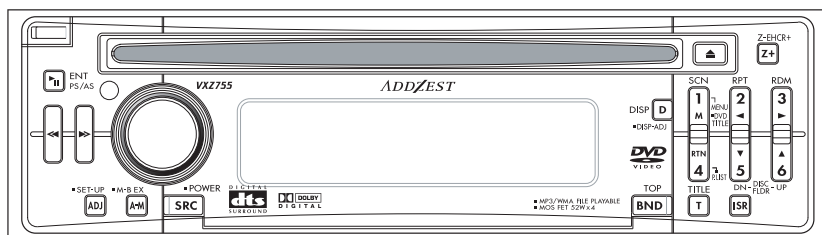


カーソルボタン

- モニター画面に表示されるメニュー項目を選択するとき、カーソルを上下左右に動かします。

各部の名称とはたらき

外部機器を操作するボタン



プレイ/ポーズボタン

- MDデッキ/チェンジャーモード時は、演奏の一時停止をします。

プリセットスキャンボタン

- TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。



サーチボタン

- TVモード時は、選局に使います。
- MDデッキ/チェンジャーモード時は、選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



アジャストボタン

- 各種の設定や調整をするアジャストモードに切り換わります。
- TVモード時は、押し続けると(約1秒間) VTRに切り換えます。

POWER



ソースボタン

- 電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)

TOP



バンドボタン

- TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続けて(約1秒間)自動選局か手動選局に切り換えます。
- チェンジャーモード時は、ディスクを切り換えます。
- MDデッキモード時は、最初の曲を演奏します。
- MDグループディスク再生時は、押し続ける(約1秒間)たびにグループ機能をオン/オフします。

TITLE



タイトルボタン

- MDデッキ/チェンジャーモード時は、タイトル表示を切り換えます。また、タイトル表示中に押し続けると(約1秒間)タイトルをスクロールします。
- ユーザータイトル表示中に押し続けると(約1秒間)タイトル入力モードを表示します。



DISP-ADJ

ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続けると(約1秒間)画面の設定や調整をするディスプレイアジャストモードに切り換わります。

SCN



ダイレクトボタン

- TVモード時は、放送局をメモリーして直接呼出します。

SCN



スキャンボタン

- MDデッキ/チェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。



リピートボタン

- MDデッキ/チェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。



ランダムボタン

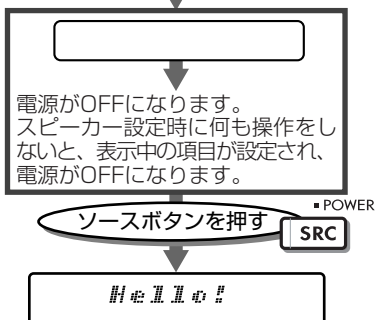
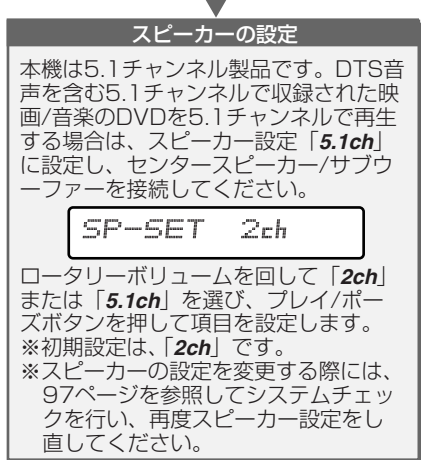
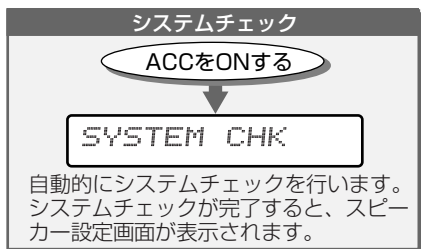
- MDデッキ/チェンジャーモード時に、ランダム演奏をします。



ディスク選択ボタン

- チェンジャーモード時は、ディスクを切り換えます。
- MDデッキモード時は、グループを切り換えます。

システムチェック/スピーカー設定時のディスプレイ表示

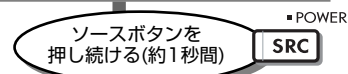
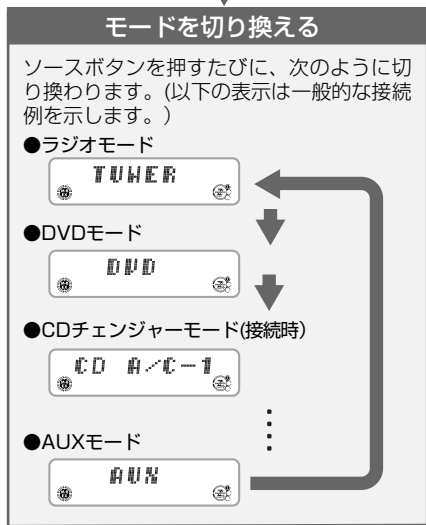
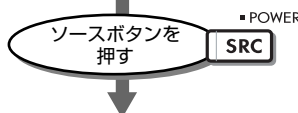
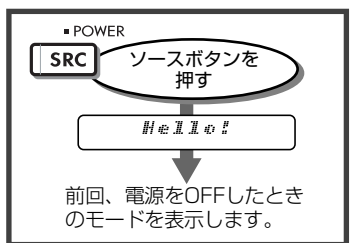


■システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されます。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

電源ON/OFF時のディスプレイ表示



“Good bye!”のメッセージを表示して終了します。

Good-bye!

(時計表示状態で電源をOFFにした場合)

2:22 AM

各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示



リモコンの
ミュートボタンを押す

※付属リモコン
(RCB-171) 使用時

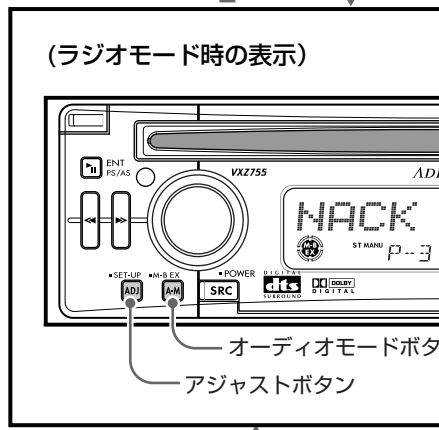
SET-UP
ADJ

アジャストボタンを押す

設定を変更する(アジャストモード)

サーチボタンの [◀] または [▶] を押し、調整項目を選び、ロータリーボリュームを回して調整内容を設定します。(91ページ)

- ビープ音の設定(BEEP)
- サブウーファー(ローパスフィルター)の設定 (SUB-W LFP)
- 内蔵アンプの設定(AMP CANCEL)
- チューナーエリアの設定(TUNE AREA)
- TVエリアの設定(TV AREA) (TV接続時)
- ステレオ/モノラルの設定(TV ST/MONO) (TV接続時)
- MAIN/SUB の設定(MAIN/SUB) (TV接続時)
- TVダイバーの設定(TV DIVER) (TV接続時)
- 携帯用オーディオの入力レベルを設定 (AUX SENSE)
- システムチェックを開始する(SYSTEM CHK)



SET-UP
ADJ

アジャストボタンを押す

M-B EX
A-M

オーディオモード
ボタンを押す



音質を簡単に設定する(Zエンハンサー機能)



(34ページ)

Z-EHCR+



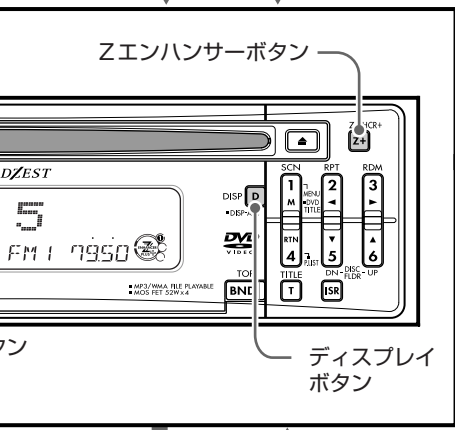
Zエンハンサー
ボタンを押す

DISP **D**

•DISP-ADJ

ディスプレイ
ボタンを押す

Zエンハンサーボタン



ディスプレイ
ボタン

DISP **D**

•DISP-ADJ

ディスプレイ
ボタンを押し続ける
(約1秒間)

表示を切り換える

●時計表示



(30ページ)

●スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「SS ON」または「SS MESSAGE」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を30秒間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(88ページ)をご覧ください。

チューナーエリアを
「USER TITLE」に
設定する

DISP **D**

•DISP-ADJ

ディスプレイボタンを押す

ユーザータイトル表示のとき
に、タイトルボタンを押し続ける
(約1秒間)

TITLE



プレイ/ポーズ
ボタンを押し続ける
(約2秒間)

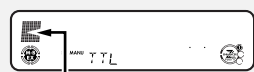


設定を変更する(ディスプレイジャストモード)

サーチボタンの [◀] または [▶] を押して、調整項目を選び、ロータリーボリュームを回して調整内容を設定します。(87ページ)

- 時計の設定(CLOCK) (30ページ)
- スクリーンセーバーの設定(SCREEN SVR)
- メッセージ入力の設定(MSG INPUT)
- タイトルスクロール方法の設定(AUTO SCROL)
- ディマーの設定(DIMMER)
- ディスプレイのコントラスト調整(CONTRAST)

タイトルを入力する



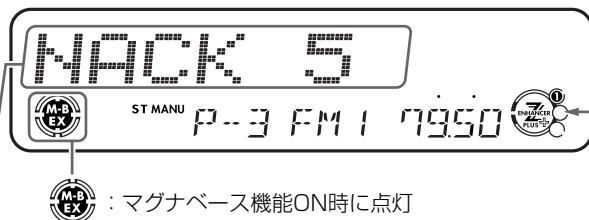
入力位置点滅

(83ページ)

■各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示



Zエンハンサー
プラス選択時
に点灯

M-B EX : マグナベース機能ON時に点灯

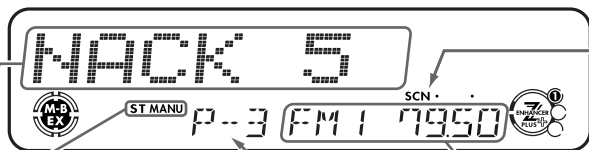
タイトル表示部

- モード表示(モード切替時に2秒間表示します。)

TUNER : ラジオモード
DVD : DVDモード
CD A/C-1 : CDチェンジャーモード
MD A/C-1 : MDチェンジャーモード
TV : TVモード
AUX : AUXモード

- タイトル表示**
各モードにおける放送局名やディスクタイトル等を表示します。
詳しくは、次ページ以降の各モード表示をご覧ください。
- スクリーンセーバー**
スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(88ページ)をご覧ください。

■ラジオモード時の表示



SCN : プリセット
スキャン時に
点灯

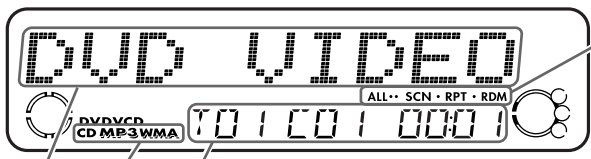
ST : ステレオ受信
インジケータ
MANU : マニュアル選局に設定
すると点灯

P-1~6 : プリセットNo.
インジケータ

- 受信バンド/周波数表示**
FM 1 79.50 : FMバンド名と
受信周波数
FM 1 12.42 : AMバンド名と
受信周波数

- タイトル表示選択時に表示
NACK 5 : 受信中の放送局名
NO TITLE : タイトル未設定のとき
- 選局切替時に表示
PRESET SCN : プリセットスキャン選択時
AUTO STORE : オートストア選択時
SEEK UP } : 自動選局選択時
SEEK DOWN }

■DVDモード時の表示



- ALL** : タイトルリピート / フォルダスキャン / フォルダリピート / フォルダランダム演奏のときに点灯
- SCN** : スキャン演奏のときに点灯
- RPT** : リピート演奏のときに点灯
- RDM** : ランダム演奏のときに点灯

- DVDビデオ再生時に表示
再生チャプターNo./
再生時間表示(時、分)
- CD/ビデオCD/MP3/WMA演奏時に表示
演奏トラックNo./
演奏時間表示(分、秒)

- CD MP3** : MP3演奏時点灯
- CD WMA** : WMA演奏時点灯

- 通常表示選択時に表示
 - DVD VIDEO** : DVDビデオ再生時
 - VIDEO CD** : ビデオCD再生時
 - ※CD・MP3/WMA演奏時は、選択したタイトルが表示されます。
- 選曲切換時に表示(約2秒間)
 - (DVDビデオ再生時)
 - C REPEAT** : チャプターリピート演奏選択時
 - TITL RPT** : タイトルリピート演奏選択時
 - (CD/ビデオCD再生時)
 - TRK SCAN** : スキャン演奏選択時
 - TRK REPEAT** : リピート演奏選択時
 - TRK RANDOM** : ランダム演奏選択時
 - (MP3/WMA再生時)
 - ♪-**SCAN** : スキャン演奏選択時
 - ♪-**REPEAT** : リピート演奏選択時
 - ♪-**RANDOM** : ランダム演奏選択時
 - SCAN** : フォルダスキャン演奏選択時
 - REPEAT** : フォルダリピート演奏選択時
 - RANDOM** : フォルダランダム演奏選択時
- その他の表示
 - DVD MENU** : DVDメニュー選択時
 - NO DISC** : ディスクがないとき
 - ERROR 2** : エラー発生時
 - FILE READ** : ファイルシステム読み込み中
 - PAUSE** : 演奏一時停止時
 - STOP** : 演奏停止時
 - SETUP MENU** : DVDセットアップメニュー選択中
 - VCD MENU** : ビデオCDプレイバックコントロールメニュー表示中

■各部の名称とはたらき

■MDデッキ/CD/MDチェンジャーモード時(接続時)の表示



ALL : ディスクスキャン/リピート/ランダムおよびグループスキャン/リピート/ランダム演奏のときに点灯

SCN : スキャン演奏のときに点灯

RPT : リピート演奏のときに点灯

RDM : ランダム演奏のときに点灯

- 通常再生時に表示
ディスクNo./トラックNo./演奏時間表示(分、秒)
- MDグループ機能ON時に表示
グループNo./トラックNo./演奏時間表示(分、秒)

• タイトル表示選択時に表示

M.YA (入力例) : ユーザータイトル等を表示

NO TITLE : CDにおけるユーザータイトル未設定のとき

NO TITLE : CDテキスト対応でないCD/タイトル入力されていないMD演奏時にディスクタイトル表示を選択したとき

NO TITLE : CDテキスト対応でないCD演奏時にアーティスト表示を選択したとき

NO TITLE : CDテキスト対応でないCD/タイトル入力されていないMD演奏時にトラックタイトル表示を選択したとき

NO TITLE : タイトル入力されていないMD演奏時にグループタイトル表示を選択したとき

NON GROUP : ノングループ再生時に、グループタイトルを選択したとき

NO GROUP : グループ編集していないMD再生時にグループタイトルを選択したとき

• 選曲切換時に表示 (約2秒間)

TRK SCAN : スキャン演奏選択時

DSC SCAN : ディスクスキャン演奏選択時

TRK REPEAT : リピート演奏選択時

DSC REPEAT : ディスクリピート演奏選択時

TRK RANDOM : ランダム演奏選択時

DSC RANDOM : ディスクランダム演奏選択時

(グループ編集MDのとき)

GRP SCAN : グループスキャン演奏選択時

GRP REPEAT : グループリピート演奏選択時

GRP RANDOM : グループランダム演奏選択時

• その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき

ERROR 2 : エラー発生時

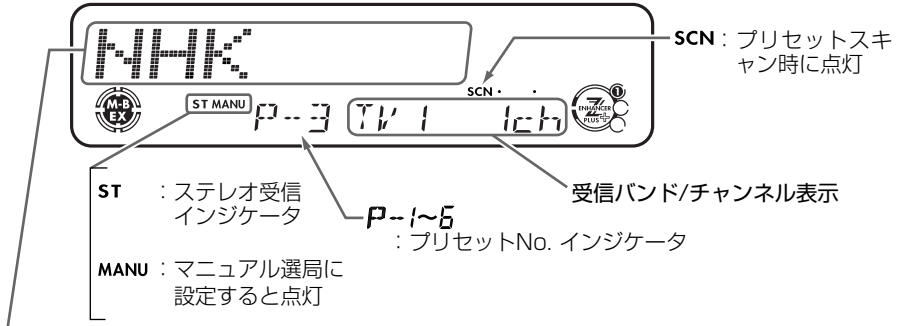
PAUSE : 演奏一時停止時

NO MAG : CDチェンジャーのマガジンがないとき

GROUP ON : グループ機能をONにしたとき

GROUP OFF : グループ機能をOFFにしたとき

■TVモード時の表示



• タイトル表示選択時に表示

- NHK** : 受信中の放送局名
- NO TITLE** : タイトル未設定のとき

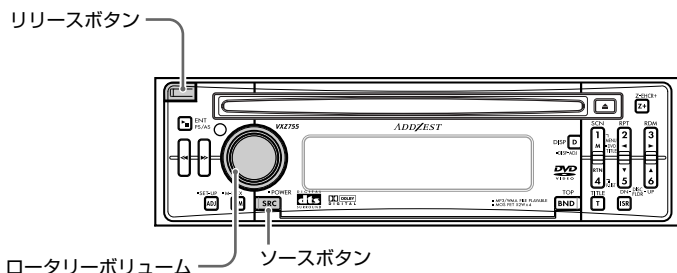
• 選局切換時に表示

- PRESET SCN** : プリセットスキャン選択時
- AUTO STORE** : オートストア選択時
- SEEK UP**
SEEK DOWN } : 自動選局選択時

• その他の表示

- VTR** : VTRモード時
- STEREO** : ステレオ切り換え時
- MONO** : モノラル切り換え時

基本の操作



DCPの取り外しかた

DCP(Detachable control panel)について…

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

- 1 ソースボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

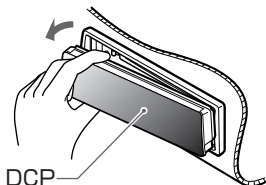


- 2 リリースボタンを深く押す



→DCPの左端が本体から外れます。

- 3 DCPを手前に取り外す

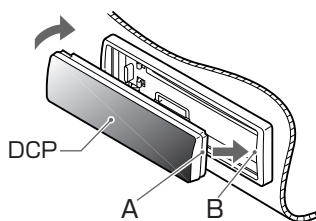


⚠ 注意

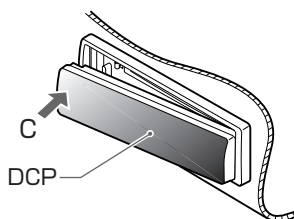
- 運転中にDCPの脱着操作をしないでください。
- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、DCPケースに入れることをおすすめします。また、落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。

DCPの取り付けかた

- 1 DCPの右側のA部を、本機のツメB部に差し込む



- 2 DCPの左側C部を、カチッと音がするまで押す



⚠ 注意

- DCPがロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機とDCPを接続しているコネクタは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

- DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

電源を入れる

システムチェックについて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れるとディスプレイに“**SYSTEM CHK**”が表示され、自動的に本機の内部でシステムチェックが始まります。システムチェックが終わると“**SP-SETTING**”（スピーカー設定画面）が表示されますので、ロータリーボリュームを回してスピーカーを選んでください。プレイ/ポーズボタンを押して項目を設定すると、電源がOFFになります。ソースボタンを押してください。（詳しくは21ページをご覧ください。）

1 ソースボタンを押す

■POWER

SRC

→前回の操作終了時のモードが表示されません。

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

ソースボタンを押し続けてください（約1秒間）。

ソースを選ぶ

1 ソースボタンを押す

■POWER

SRC

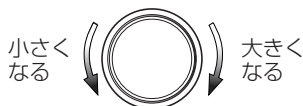
→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↓
AUX ← (TV) ← (MDチェンジャー) ←

- 接続していない機器のモードは表示されません。

音量を調節する

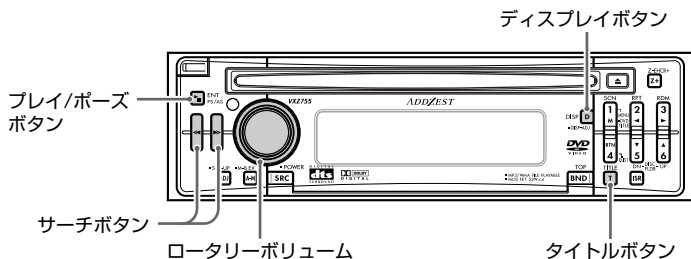
1 ロータリーボリュームを回す



ご注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

基本の操作



時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。

時計は12時間表示です。

- ・ナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから送られてくるため、時刻の調整はできません。ディスプレイアジャストモードの「**CLOCK E**」は表示されません。

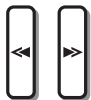
1 ディスプレイボタンを押し続ける (約1秒間)



•DISP-ADJ

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK E**」等を表示して、ディスプレイアジャストモードになります。

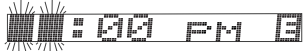
2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「**CLOCK E**」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す

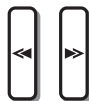


→調整時点(「**2:20 pm**」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。



- ・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、時または分を選ぶ



→点滅している項目が調整できます。

5 ロータリーボリュームを回して、時刻を合わせる



6 プレイ/ポーズボタンを押す



→「ピー」と鳴って、時刻が設定されます。

ご注意

- ・電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- ・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

7 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



•DISP-ADJ

表示を切り換える

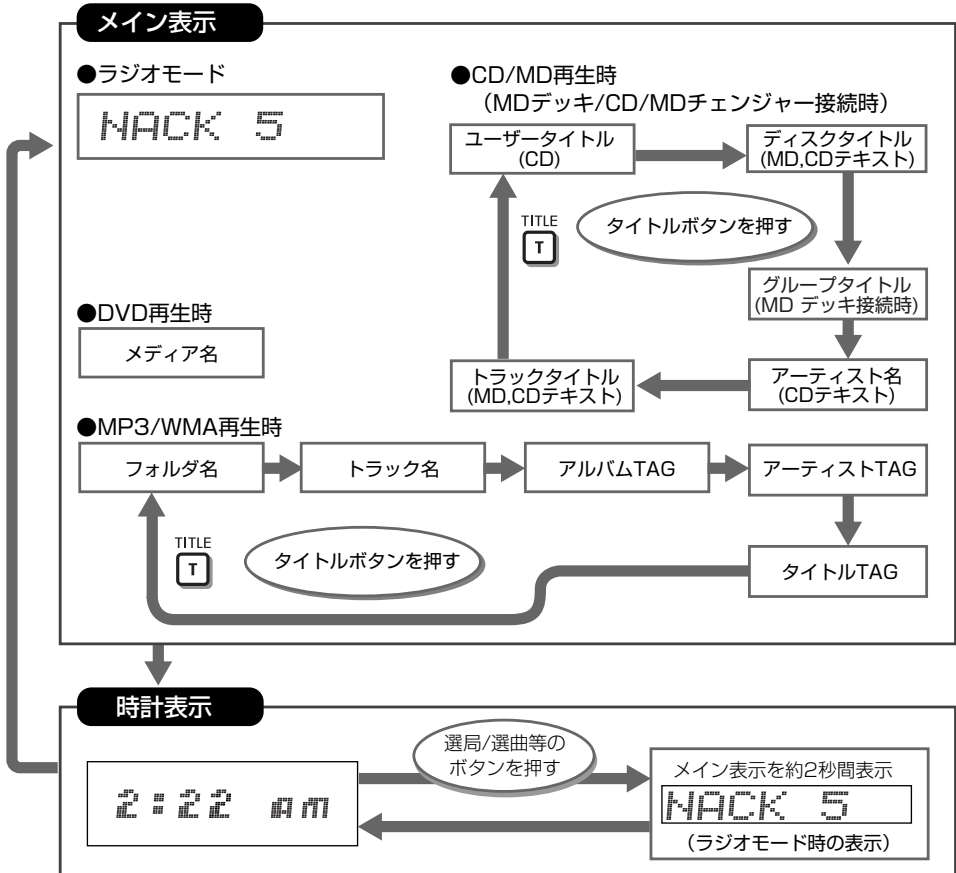
1 ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ

DISP **D**
•DISP-ADJ

→押すたびに、次のように切り換わります。

ご注意

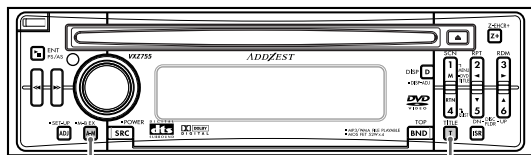
- 電源OFF状態で時計を表示させたいときは、ディスプレイボタンを押して、時計表示にしてから電源をOFFにしてください。(21ページ参照)



スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「ON」または「MESSAGE」に設定されているときに、メインまたは時刻を一定時間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは「スクリーンセーバーを設定する」(88ページ)をご覧ください。

基本の操作



オーディオモードボタン

タイトルボタン

タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

MP3/WMA 再生時に、フォルダ名またはファイル名、TAG 情報をディスプレイに表示します。

CDテキストおよびMD再生時に、ディスクに登録されているディスクタイトル、トラックタイトル、アーティスト名 (CDテキストのみ) をディスプレイに表示します。MD デッキ再生時は、グループタイトルも表示します。

1 タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す



→押すたびに、次のように切り換わります。

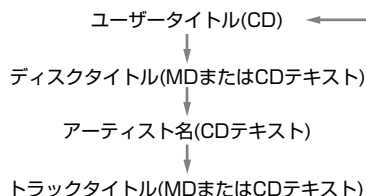
●MP3/WMA再生時

フォルダネーム
↓
トラックネーム
↓
アルバムTAG
↓
アーティストTAG
↓
タイトルTAG

●MDデッキ接続時

ディスクタイトル
↓
グループタイトル
↓
トラックタイトル

●CD/MD 再生時(CD/MD チェンジャー接続時)



- TAG が入力されていない場合は、
アルバム TAG : **AL NO TAG**
アーティスト TAG : **A NO TAG**
タイトル TAG : **T NO TAG**
と表示されます。
- CD テキスト対応でない CD の場合は、
ユーザータイトル : **U NO TITLE**
ディスクタイトル : **D NO TITLE**
アーティスト名 : **A NO TITLE**
トラックタイトル : **T NO TITLE**
と表示されます。
- タイトルが入力されていない MD の場合は、
ディスクタイトル : **D NO TITLE**
グループタイトル : **G NO TITLE**
トラックタイトル : **T NO TITLE**
と表示されます。
- グループタイトル選択時、グループ編集 MD でない場合は、「**NO GROUP**」と表示されます。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

DVDモードにおけるCDテキスト再生時またはMP3/WMAディスク再生時、CDチェンジャーモードにおけるCDテキスト再生時、MDデッキ/MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクに登録されているタイトルがスクロールできます。スクロールの設定がONのときは、自動でスクロールし続けます。設定については「**タイトルスクロール方法を設定する(AUTOSCROL)**」(89ページ)をご覧ください。

- 1 スクロール方法の設定がOFFのときは、タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→タイトルが左にスクロールします。

■タイトル表示例

タイトル名が **AB CD EF GH XYZ** の場合

- 最初の10文字表示状態

AB CD EF G

- スクロール中

CD EF GH X

XYZ

*タイトルの末尾まで表示すると、最初の10文字表示に戻ります。

ご注意

- CDチェンジャーモードで「**USER TITLE**」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押し続けると、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

重低音をON/OFFする (マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときには…

小音量でお聴きになるときには、重低音を強調するマグナベースEXの音質効果をおすすめします。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「**5.1ch**」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「**ドルビープロロジックデコードの処理を設定する**」(81ページ)で「**ON**」を選択した場合は、設定できません。

- 1 オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)

M-B EX

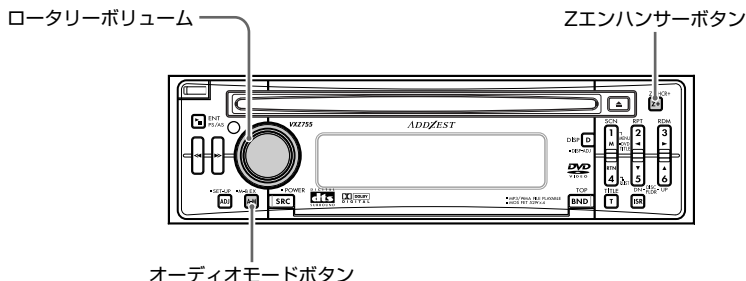


→ONになると、「**M-B EX**」が点灯します。

■マグナベースEXをOFFにするには…

もう一度、オーディオモードボタンを押し続けず(約1秒間)。

■基本の操作



音質を簡単に設定する(Zエンハンサープラス機能)

Zエンハンサープラス機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

● **BASS BOOST** :

低音を重視したサウンド

● **IMPACT** :

低音と高音を強調したサウンド

● **EXCITE** :

低音と高音を更に強調したサウンド

※初期設定は「**Z+ OFF**」です。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「**5.1ch**」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(81ページ)で「**ON**」を選択した場合は、設定できません。

■カスタム(CUSTOM)について…

カスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

「音質を調整する(バス/トレブル)」(36ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

■カスタムの設定値を初期値に戻すには…

Zエンハンサーボタンを押し続けてください(約1秒間)。

→「**Z+FLAT**」の表示をして、BASS/TREBLEの設定値が初期値に戻ります。

■Z+オフ(Z+OFF)について…

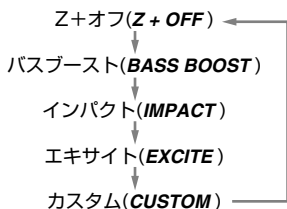
Z+オフは、原音のまま、お聴きになりたいときにご使用ください。

1 Zエンハンサーボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

Z-EHCR+



→押すたびに、次のように切り換わります。



Z エンハンサープラス効果を調整する

Z エンハンサープラス機能がB A S S BOOST(バスブースト)、IMPACT(インパクト)あるいはEXCITE(エキサイト)のとき調整できます。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(81ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、Z エンハンサープラス調整項目 (B-BOOST/IMPACT/EXCITE) を選ぶ



→ 押すたびに、次のように切り換わります。



※システムチェック時のスピーカー設定を「2ch」に設定している場合は、表示されません。

- オーディオモード中に何も操作をしないと、自動的に元のモードに戻ります。

2 ロータリーボリュームを回して、Z エンハンサープラス効果を調整する



- 調整範囲は、-3 ~ +3 です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



センタースピーカー出力の音量を調節する

この機能は、「スピーカーの有無を設定する」(75ページ)でセンタースピーカーを「OFF」に設定した場合や、システムチェック時のスピーカー設定を「2ch」に設定した場合は、表示されません。

※初期設定は、「0」です。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(81ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、「CTR-VOL」を選ぶ



2 ロータリーボリュームを回して出力音量を調整する

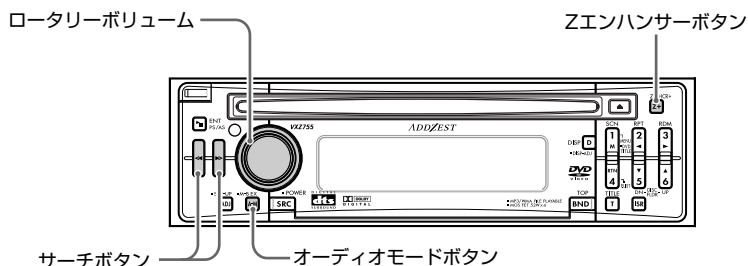


- 設定範囲は、OFF、-4 ~ +8 です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



基本の操作



サブウーファー出力の音量を調節する

この機能は、「スピーカーの有無を設定する」(75ページ)でサブウーファーの設定が「ON」のときに調整できます。

※初期設定は、「0」です。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(81ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、「SW- VOL」を選ぶ



2 ロータリーボリュームを回して出力音量を調整する



- 設定範囲は、OFF、-6 ~ +6 です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る



音質を調整する(バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

- この機能は、Z エンハンサープラス機能がカスタム(CUSTOM)のときに設定できます。
- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(81ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 Zエンハンサーボタンを押して、「CUSTOM」を選ぶ



2 オーディオモードボタンを押して、調整項目「BASS、TREBLE」等を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



※システムチェック時のスピーカー設定を「2ch」に設定している場合は、表示されません。

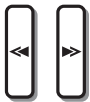
- オーディオモード中に何も操作をしないと、自動的に元のモードに戻ります。

3 ロータリーボリュームを回して「GAIN」(ゲイン)を調整する



- BASS(低音域)調整範囲は、**-6 ~ +6**です。
- TREBLE(高音域)調整範囲は、**-6 ~ +6**です。

4 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「F」(周波数)または「Q」(カーブ)を選ぶ



5 ロータリーボリュームを回して「F」(周波数)または「Q」(カーブ)を調整する

- BASS (低音域)**
周波数(FREQ) : 60Hz, 100Hz, 200Hz
Q カーブ(Q) : 1, 1.25, 1.5, 2
- TREB (高音域)**
周波数(FREQ) : 10kHz, 15kHz
Q カーブ(Q) : 1 (固定、調整できません)
TREBでは、サーチボタンを押しても「Q」は表示されません。「F」と「GAIN」のみ表示されます。

6 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

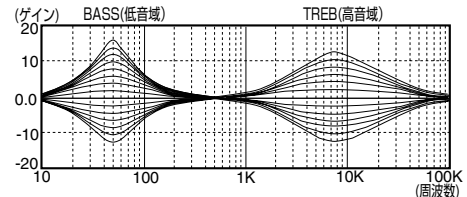


■カスタムの設定値を初期値に戻すには…

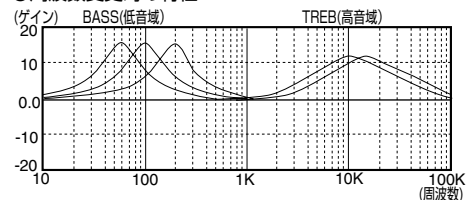
Zエンハンサーボタンを押し続けてください(約1秒間)。
→「Z+FLAT」の表示をして、BASS / TREBLEの設定値が初期値に戻ります。

※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してみてください。

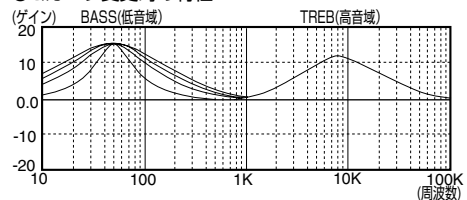
●ゲイン調整時の特性



●周波数変更時の特性

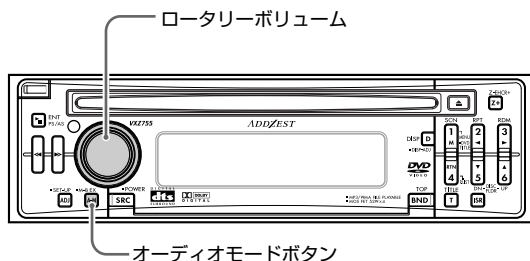


●Qカーブ変更時の特性



※Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

■基本の操作



バランス/フェダーを調整する

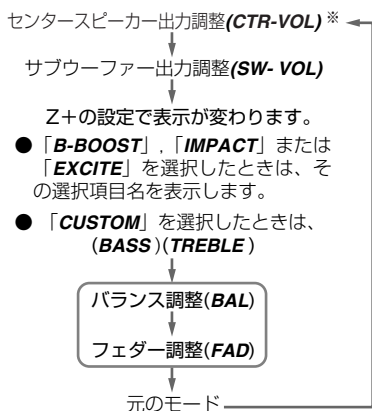
ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(81ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

1 オーディオモードボタンを押して、「BAL」または「FAD」を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



※システムチェック時のスピーカー設定を「2ch」に設定している場合は、表示されません。

- オーディオモード中に何も操作をしないと、自動的に元のモードに戻ります。

2 ロータリーボリュームを回して、音量を調整する

■バランスの調整(左右のスピーカー音量)



- 調整範囲は、L13 ~ R13 です。

■フェダーの調整(前後のスピーカー音量)

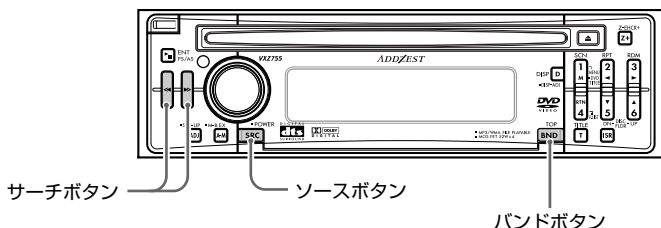


- 調整範囲は、F12 ~ R12 です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す



ラジオを聴く



ラジオモードを選ぶ

- 1 ソースボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

■POWER

SRC

→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↑
AUX → (TV) → (MDチェンジャー) ←

- 接続していない機器のモードは表示されません。

自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

TOP

BND

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押して、受信バンドを切り換える

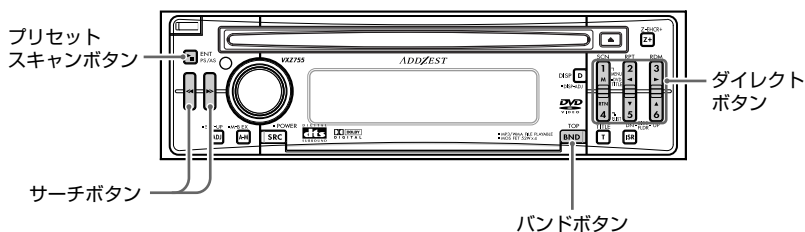
TOP

BND

→押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2
↑

ラジオを聴く



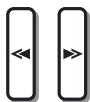
手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、放送のあるところに合わせる



→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

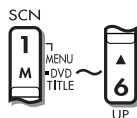
- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

ご注意

- ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

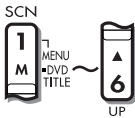
- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)



→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



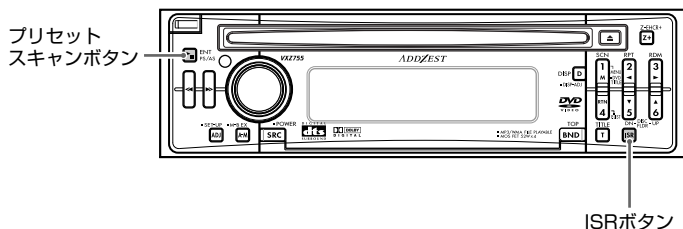
→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1～6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

ラジオを聴く



放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す



→タイトル表示部に「**PRESET SCN**」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- プリセットスキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プリセットスキャンボタンを押してください。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、「**AM1620kHz**」の交通情報がメモリーされています。

1 ISRボタンを押す



→ディスプレイに「**ISR**」を表示します。

- ユーザータイトルが設定されていないときは、「**NO TITLE**」を表示します。

ISRにメモリーされている放送局を選局します。

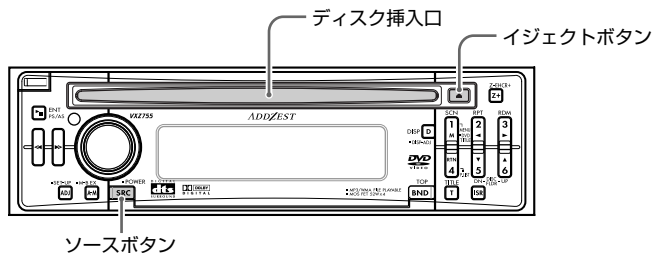
■ 元のモードに戻すには…

もう一度、ISRボタンを押すか、またはソースボタンを押してください。

■ ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。

DVDを見る



ディスクを入れる

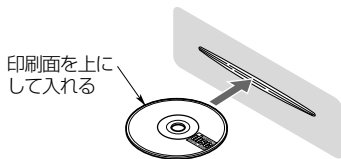
ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出している、はがした痕があるディスクは入れないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

1 ディスク挿入口にディスクを入れる



→ ディスクを入れると、タイトル表示部に「FILE READ」を表示したのち、再生が始まります。

ご注意

- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-R または CD-RW で記録されたディスクでも使用できない場合があります。

■ シングルCD(8cmCD)について…

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、ディスク挿入口の中央から入れてください。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 イジェクトボタンを押す



→ ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを再生する

1 ソースボタンを押して、DVDモードを選ぶ

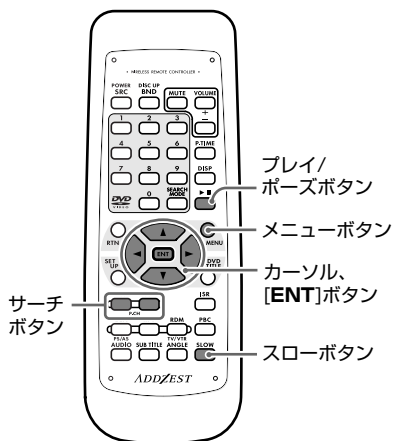
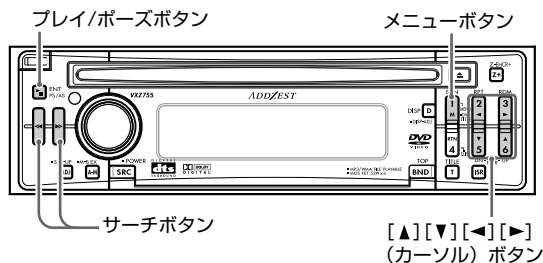
→ DVDモードになると、自動的に再生が始まります。

ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↑
AUX → (TV) → (MDチェンジャー) ←

- 接続していない機器のモードは表示されません。

DVDを見る



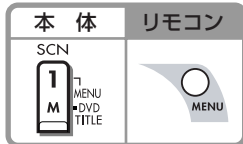
ディスクを再生する

ディスク挿入後、自動的に再生を開始します。

- DVDメニューを表示します。
- ディスクの内容、種類によってはボタン操作を受けつけない場合があります。
- 通常のDVDビデオディスクでは、メニュー画面が表示されます。表示内容はDVDソフトにより異なります。
- ディスク再生時、モニター画面を自動的に切り換えることはできません。DVDビデオ等を見る場合は、あらかじめモニター側の入力切替を「ビデオ」に切り換えてください。切替方法は、接続モニターに付属の「取扱説明書」をご覧ください。

DVDメニューを選ぶ

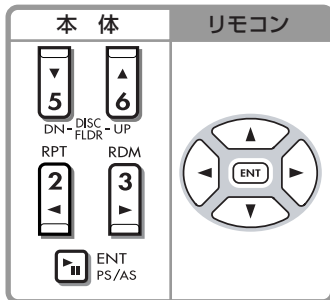
1 メニューボタンを押す



→メニュー画面が表示されます。

2 [▲][▼][◀][▶]ボタンや、リモコンの10キーボタンで項目を選び、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押して決定する

- ディスクによっては10キーボタンでは項目が選べないものもあります。



再生を停止する

- 再生中に、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)



→再生が止まります。

■再生を再開させるには…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押し続けてください。

→止めた位置から再生が始まります。

一時停止する

- 再生中に、プレイ/ポーズボタンを押す



→再生が一時停止します。

■再生を再開させるには…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押し続けてください。

→止めた位置から再生が始まります。

スロー再生する

- 再生中にリモコンのスローボタンを押し続ける。または一時停止中に[▶▶]ボタンを押し続ける



→ボタンを押ししている間、1/2倍速でスロー再生します。

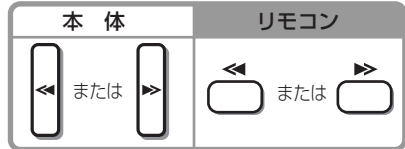
- 戻す方向では、スロー再生できません。また、スロー再生中は、音声を再生できません。

チャプターのスキップ(頭出し)

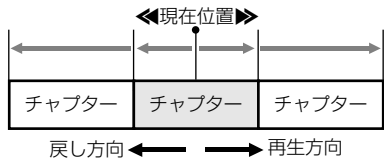
チャプターについて…

ディスクのデータ領域を分けるための小さな区切り(チャプター)です。

- 再生中に、サーチボタンを押す

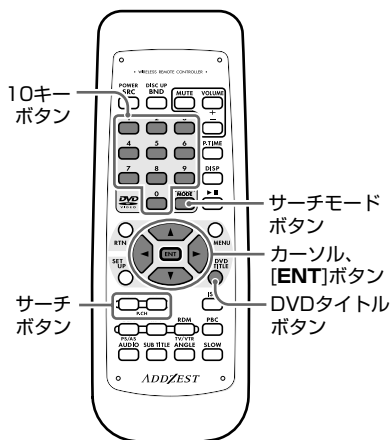
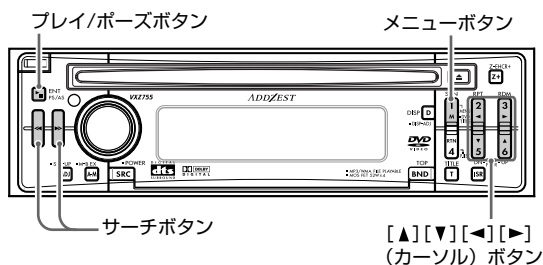


→押した回数だけチャプターがスキップして、再生が始まります。



- [▶▶]ボタンを押すと、1つ先のチャプターの頭から再生します。
- [◀◀]ボタンを押すと、現在のチャプターの頭から再生します。約2秒以内にもう一度このボタンを押すと、1つ前のチャプターの頭から再生します。
- サーチボタンを押すとメニュー画面に戻ることがあります。

DVDを見る



早送り/早戻しする

- 再生中にサーチボタンを押し続ける(1秒以上)

本体	リモコン
または	または

- ボタンを押し続けると、最初は4倍速、3秒後に1.6倍速になり、ボタンを離すと通常再生になります。
- 早送り/早戻し中は、音声は再生されません。
- ディスクのストーリーにより、ボタン操作が禁止される場合があります。
- ボタンを押すとメニュー画面に戻ることがあります。

チャプター/タイトル番号で頭出しする<リモコン操作のみ>

DVDビデオディスクに記録されているチャプター番号またはタイトル番号から頭出しします。

- 再生中に、サーチモードボタンを押して、「C**」を選択する (**は任意)

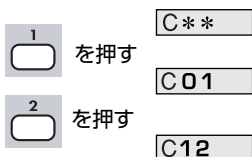


- 押すたびにタイトル番号入力「T**」とチャプター番号入力「C**」が切り換わります。
- **タイトル**
ディスクのデータ領域を分けるための大きな区切り(タイトル)です。
- **チャプター**
ディスクのデータ領域を分けるための小さな区切り(チャプター)です。

2 再生させたいタイトル番号を、10キーボタン(0~9)で入力する



- タイトル番号「12」を入力するには、10キーボタンの「1」を押し、次に「2」を押します。



3 [ENT] ボタンを押す



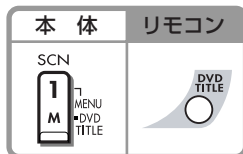
- 入力されたタイトル番号またはチャプター番号の場面から再生します。
- 存在しないタイトル番号を入力したり、タイトル番号での頭出しが禁止されている場合は、[ENT] ボタンを押すと次のように表示され、無効になります。



タイトルメニューを使う

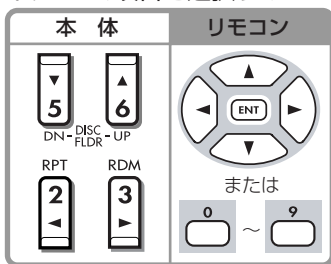
複数のタイトルが入っているDVDディスクの場合は、タイトルメニューから選択して再生できます。

1 再生中に、メニューボタンまたはリモコンのDVDタイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



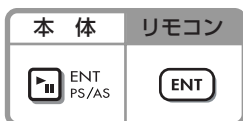
- タイトルメニュー画面が表示されます。
- ボタンを押すと、タイトルメニューが表示される前の場面に戻って再生します。
- ディスクにより、DVDタイトルボタンでタイトルを表示できないことがあります。

2 [▲][▼][◀][▶]ボタンまたは10キーボタンで、項目を選択する

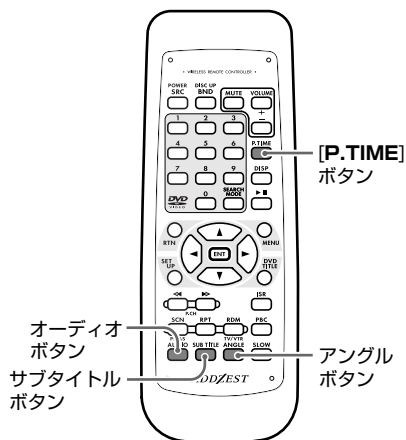


- [▲][▼][◀][▶]ボタンによる選択項目の移動は、ディスクによって異なります。また10キーボタンによる選択もディスクによって異なります。
- ディスクによっては10キーボタンで項目を選択できない場合があります。

3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT] ボタンを押す



DVDを見る



言語を切り換える

<リモコン操作のみ>

複数の音声や音声言語が記録されているディスクでは、再生中に音声の言語を切り換えることができます。

1 再生中に、オーディオボタンを押す



→押すたびに音声言語が切り換わります。

- ディスクによっては、最大8種類の音声が入録されています。詳しくはディスクのマーク(⑧) : 音声が入録されている場合)をご覧ください。
- 電源を入れたときやディスクを入れ換えたときは、本機の工場出荷時に設定された言語になります。またその言語が入録されていない場合には、ディスク側で決められた言語になります。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- 音声の切り換えに多少時間がかかる場合があります。

アングルを切り換える

<リモコン操作のみ>

複数のアングル(角度)で映像が記録されているDVDディスクでは、再生中にアングルを切り換えることができます。

1 再生中に、アングルボタンを押す



→押すたびにアングルが切り換わります。

- ディスクによっては、最大9アングルが入録されています。詳しくはディスクのマーク(⑨) : マルチアングルの場合)をご覧ください。
- ディスクにより、つなぎめなくスムーズに切り換わるものと、切り換えたときに一瞬静止画になるものがあります。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- アングルが切り換わるまで、多少時間がかかる場合があります。
- ディスクにより、複数のアングルで記録された場面を再生することもあります。

字幕を切り換える


<リモコン操作のみ>

複数の字幕言語が記録されているDVDディスクでは、再生中に字幕の言語を切り換えることができます。

1 再生中に、サブタイトルボタンを押す



→押すたびに字幕が切り換わります。

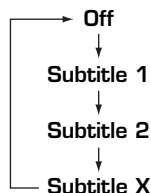
- ディスクによっては、最大32種類の字幕が収録されています。詳しくはディスクのマーク() :字幕が8種類の場合)をご覧ください。
- ディスクによっては全く切り換えられない場合や、切り換えできない場面があります。
- 字幕の切り換えに多少時間がかかることがあります。

字幕を消す <リモコン操作のみ>

1 再生中にサブタイトルボタンを押す



→押すたびに字幕の表示消し(OFF)と表示が切り換わります。



- ディスクによっては表示消し(OFF)にしても字幕が消えない場合があります。
- サブタイトルボタンを押すと、表示消し(OFF)が解除されます。

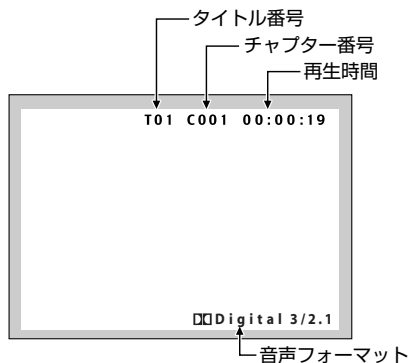
再生状態を表示させる


<リモコン操作のみ>

1 再生中に、[P.TIME]ボタンを押す

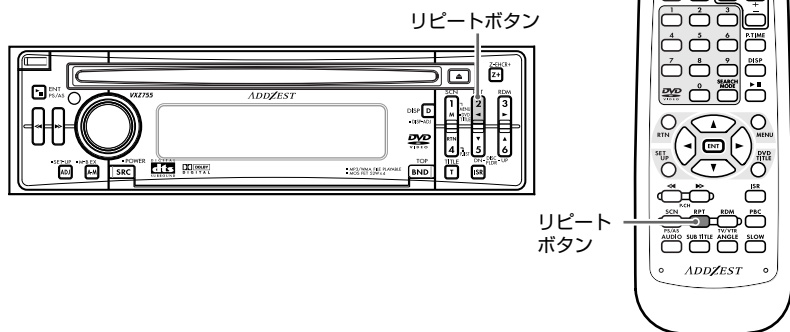


→押すたびに再生状態の表示(ON)と表示消し(OFF)が切り換わります。



- 再生状態表示中に[P.TIME]ボタンを押し続ける(約1秒間)ことによって、再生状態表示を切り換えることができます。
- TITLE ELAPSED
タイトルの経過時間
- TITLE REMAIN
タイトルの残り時間
- CHAPTER ELAPSED
チャプターの経過時間
- CHAPTER REMAIN
チャプターの残り時間
-  Digital 3/2.1 (例)
音声フォーマット表示

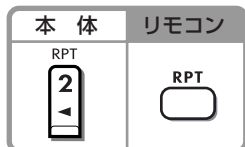
DVDを見る



リピート再生をする

チャプターやタイトルのリピート再生をします。

1 リピートボタンを押す



→リピートボタンを短く押すとチャプターリピート再生を行います。

→リピートボタンを1秒以上押すとタイトルリピート再生を行います。

- **チャプターリピート**
1つのチャプターをくり返し再生します
- **タイトルリピート**
タイトルの中の全てのチャプターをくり返し再生します

■ **リピート再生を解除するには…**

もう一度、リピートボタンを押します。

CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- 「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- 本機は、DRM(著作権保護)が施されたWMAファイルには対応していません。DRMがONのままのファイルを再生しても、そのファイルは再生されず、DRMがOFFになっているファイルが再生されます。
- Windows Media™、及びWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

- Windows Media Player 8ご利用時は、「ツール」[オプション]「音楽のコピー」のタブで、「コピーの設定」の中の「コンテンツを保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
 - Windows Media Player 9ご利用時は、「ツール」[オプション]「音楽の録音」のタブで、「録音設定」の中の「保護された音楽を録音する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- ※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●MP3/WMAディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

- MP3の場合のサンプリングレートは、32kHz～48kHz、ビットレートは、8kbps～320kbps/VBRです。
- WMAの場合のビットレートは、32kbps～192kbpsです。

ファイル拡張子

- ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。
- MP3/WMAデータでないファイルはスキップされ、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3/WMAファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1.2.)」,「JOLIET、ROMEO」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- MP3/WMA再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、半角英数/記号(ASCII)までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

- TAGのないMP3/WMAフォルダは「NO TAG」が表示されます。
- MP3の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.4/2.3/2.2を優先します。
- WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。
- TAGで表示可能な文字は、半角英数/記号(ASCII)です。

フォルダ階層

- フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

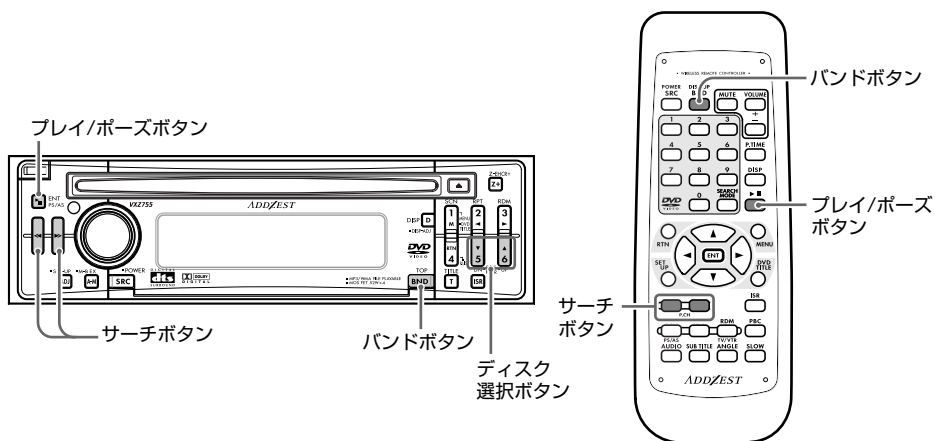
ファイル/フォルダ数

- 255フォルダ、999ファイルまで再生可能です。ただし、1つのフォルダ内に999ファイルが入っている場合は、そのフォルダ以降のフォルダは再生されません。
- 曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。

●プレイリストの作り方

- 希望の曲をCD-R/RW等に書き込みます。この時全てのフォルダ名、ファイル名は、半角英数/記号(ASCII)を使用してください。
 - マルチメディアプレーヤーなどを使ってプレイリストを作成し、データを保存します。この時のファイル形式は「.M3U」にしてください。
 - 作成したプレイリストをCD-R/RWに追記します。
- CD-R/RW等へ書き込むときは、必ず、半角英数/記号(ASCII)を使用してください。
 - CD-R/RW等へ書き込むときは、ディスクアットワンスをOFFにしてください。
 - プレイリストを追記する場合は、「Root」フォルダーに書き込むことを推奨します。
 - リストとして認識できるのは、5つまでであり、書き込んだプレイリストは新しい順に5つまで、認識します。

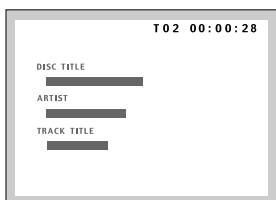
CD/MP3/WMAを聴く



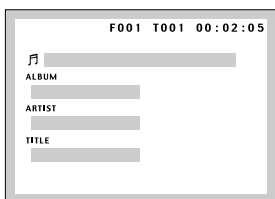
ディスクを再生する

ディスク挿入後、自動的に再生を開始します。

- 本機はCDテキスト対応モデルです。
- CD TEXTのDISC TITLE TRACK TITLE Artistの表示に対応しています。
- CD TEXT、TAGは英数字のみ対応しております。また、文字データによっては正しく表記されない場合もあります。



CD TEXT 表示



WMA/ID3TAG 表示例

演奏を止める(一時停止する)

1 再生中に、プレイ/ポーズボタンを押す。または押し続ける(約1秒間)



→演奏を一時停止します。

■続けて演奏を聴きたいときは…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押します。

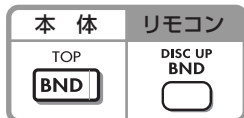
→止めた位置から演奏が始まります。

最初の曲から聴く (トップ機能)

トップ機能について…

演奏しているディスクまたはフォルダの最初の曲から演奏を始めます。

1 バンドボタンを押す



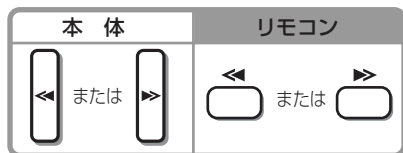
→最初の曲(トラックNo.1)から演奏が始まります。

MP3/WMAファイルが記録されたCD-R/CD-RWを挿入したときは、フォルダの最初の曲から演奏が始まります。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの[▶▶]を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの[◀◀]を2回押す



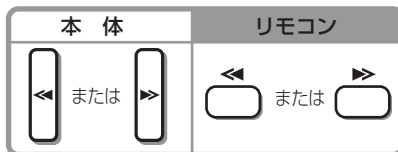
→[▶▶]ボタンを押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→[◀◀]ボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときに[◀◀]ボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。2秒以内に再び押した場合、今演奏中の曲の最初から演奏する場合があります。

早送り/早戻しする

1 再生中にサーチボタンを押し続ける(1秒以上)



→ボタンを押すと、演奏のスピードが最初は4倍速になり、3秒後には8倍速になります。ボタンを離すと通常の演奏に戻ります。

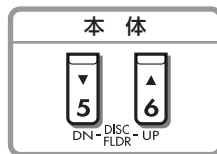
- WMA再生時は、早戻しはできません。

フォルダ/プレイリストを切り換える <本体操作のみ>

フォルダ選択モードについて…

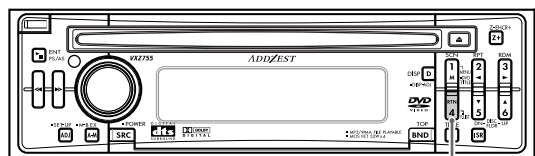
MP3/WMAディスク演奏時、MP3/WMAファイルのあるフォルダまたはプレイリストを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から演奏します。

1 ディスク選択ボタンを押す



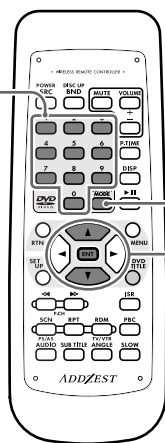
→[5 DN]を押したときは前のフォルダまたはプレイリストに、[6 UP]を押したときは次のフォルダまたはプレイリストに移ります。

CD/MP3/WMAを聴く



プレイリストボタン

10キーボタン



サーチモードボタン
カーソル、
[ENT]ボタン

トラック/フォルダ番号で頭出しする <リモコン操作のみ>

ダイレクト選択モードについて…

CDまたはMP3/WMAディスク演奏時、トラック/フォルダ番号を直接入力して、曲を選ぶことができます。

1 再生中にサーチモードボタンを押す



→ ボタンを押すたびに、トラック番号入力 (T000) モードとフォルダ番号入力 (F000) モードが切り換わります。

2 10キーボタンを使って、再生させたいトラック番号またはフォルダ番号を入力する



- トラック番号「12」を入力するには、10キーボタンの「1」を押し、次に「2」を押します。



3 [ENT] ボタンを押す



→ フォルダ番号をダイレクトに選んだときは、入力したフォルダの最初のトラックから演奏を開始します。

- 存在しないフォルダ番号やトラック番号を入力したり、フォルダ番号またはトラック番号での頭出しが禁止されている場合は、[ENT] ボタンを押すと次のように表示され、無効になります。

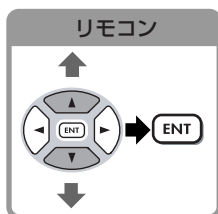


画面上のトラックを選ぶ

<リモコン操作のみ>

MP3/WMAディスク演奏時、モニター画面上のMP3/WMAファイルまたはフォルダを選択することができます。

- 1 希望するファイルをカーソルボタン[▲]、[▼]で選択し、[ENT]ボタンを押す



→演奏が始まります。

■ 表示画面の流れ

ID3TAG表示 ※1

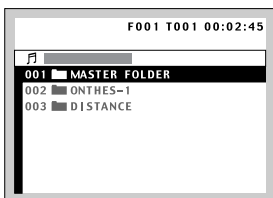


FILE一覧表示



FOLDER一覧表示 ※2

- ※1 ID3TAGが記録されているファイルの場合
ファイル選択後、カーソルボタンの入力が一定時間ない場合、ID3TAG表示画面が表示されます。
- ※2 表示画面を切り換えるには、[RTN]またはメニューボタンを押してください。
 - カーソルボタン[▲]、[▼]で希望するフォルダにカーソルを合わせ、[ENT]ボタンを押してフォルダを選択してください。



FOLDER 一覧表示

プレイリストを選択して曲を演奏する

<本体操作のみ>

プレイリストについて…

MP3/WMAディスク演奏時、ディスクに書き込まれたプレイリスト情報を読み込み、新しいタイムスタンプ5つまで、演奏をすることができます。

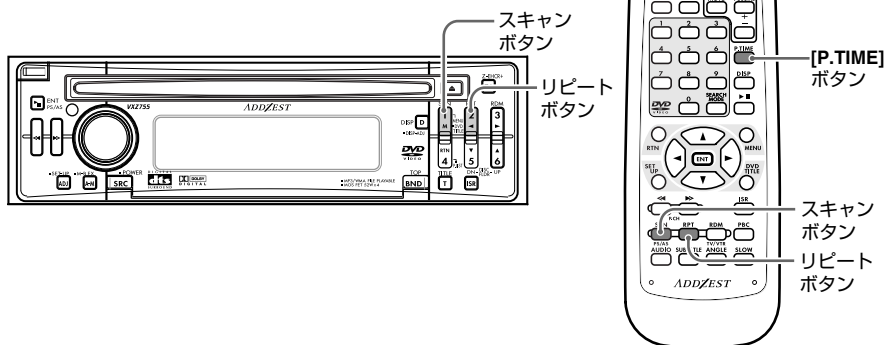
- 1 プレイリストボタンを押し続ける(約1秒間)



→押し続けると、タイトル表示部に「**P LIST READ**」を表示したのち、演奏が始まります。

- プレイリスト演奏中はスキャン/リピート/ランダム演奏はできません。
- タイトル表示は、フォルダ名からプレイリスト名に代わります。

CD/MP3/WMAを聴く



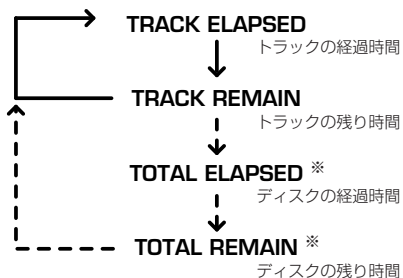
演奏状態の表示を変更する

<リモコン操作のみ>

- 1 [P.TIME]ボタンを押し続ける(約1秒間)



→演奏状態の表示が切り換わります。



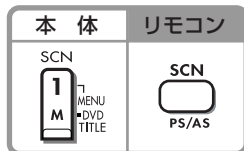
※ CD 再生中のみ、表示されます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

- 1 スキャンボタンを押す



→ディスプレイの「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「TRK SCAN」(MP3/WMAのときは「♪-SCAN」)を表示し、演奏している曲の次の曲からスキャン演奏をします。

■ スキャン演奏を解除するには…

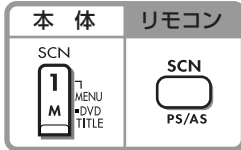
もう一度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「SCN」が消灯し、通常の演奏になります。

聴きたいフォルダを探す (フォルダスキャン演奏)

フォルダスキャン演奏について…
収録されている全フォルダの最初の曲を約
10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「**ALL**」と「**SCN**」が点灯し、
タイトル表示部に「**■-SCAN**」を表示し、演
奏している曲の次のフォルダからスキャン
演奏します。

■フォルダスキャン演奏を解除する には…

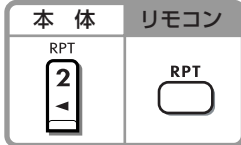
もう一度、スキャンボタンを押してくだ
さい。

→ディスプレイの「**ALL**」と「**SCN**」が消灯
し、通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く (リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、タイトル表
示部に「**TRK REPEAT**」(MP3/WMAの
ときは「**♪-REPEAT**」)を表示し、リピート演
奏をします。

■リピート演奏を解除するには…

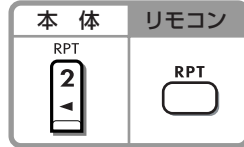
もう一度、リピートボタンを押してくだ
さい。

→ディスプレイの「**RPT**」が消灯し、通常の
演奏になります。

フォルダ内の曲を繰り返し聴く (フォルダリピート演奏)

フォルダリピート演奏について…
演奏中のMP3/WMAフォルダ内の曲を繰
り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



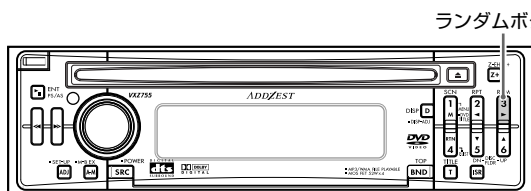
→ディスプレイの「**ALL**」と「**RPT**」が点灯し、
タイトル表示部に「**■-REPEAT**」を表示し、
フォルダリピート演奏をします。

■フォルダリピート演奏を解除するに は…

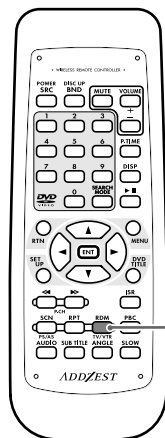
もう一度、リピートボタンを押してくだ
さい。

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RPT**」が消灯し、
通常の演奏になります。

CD/MP3/WMAを聴く



ランダムボタン



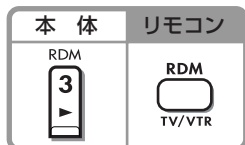
ランダムボタン

ランダムに演奏を聴く (ランダム演奏)

ランダム演奏について…

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



→ディスプレイの「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「TRK RANDOM」(MP3/WMA のときは「♪-RANDOM」)を表示し、ランダム演奏をします。

※ランダム演奏中は、前の曲を選ぶ操作はできません。

■ランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

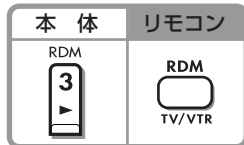
→ディスプレイの「RDM」が消灯し、通常の演奏になります。

全フォルダの演奏をランダムに 聴く(フォルダランダム演奏)

フォルダランダム演奏について…

収録されている全てのフォルダの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



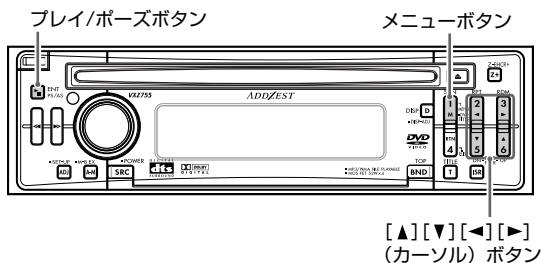
→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「■-RANDOM」を表示し、フォルダランダム演奏をします。

■フォルダランダム演奏を解除するには…

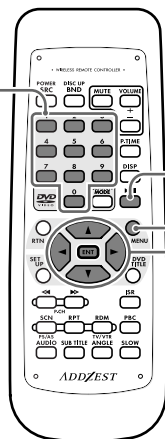
もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が消灯し、通常の演奏になります。

ビデオCDを見る



10キー
ボタン



ディスクを再生する

ディスク挿入後、自動的に再生を開始します。

- ディスクの内容、種類によってはボタン操作を受けつけない場合があります。
- ディスク再生時、モニター画面を自動的に切り換えることはできません。ビデオCD等を見る場合は、あらかじめモニター側の入力切換を「ビデオ」に切り換えてください。切換方法は、接続モニターに付属の「取扱説明書」をご覧ください。

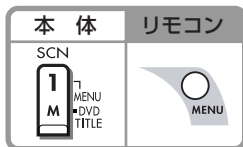
■メニュー画面が表示されたら…

PBC(Play Back Control)機能のあるビデオCDでは、メニュー画面が表示されたら、画面の表示に沿って[▲][▼][◀][▶]ボタンや、リモコンの10キーボタンで項目を選び、[ENT]ボタンを押して決定します。

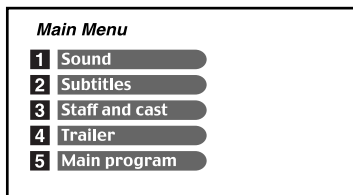
ビデオCDメニューを選ぶ

PBC(Play Back Control)機能のあるビデオCDでは、PBCがONのときビデオCDメニューを選ぶことができます。

1 再生中にメニューボタンを押す



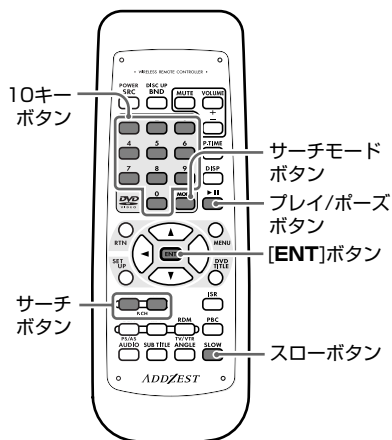
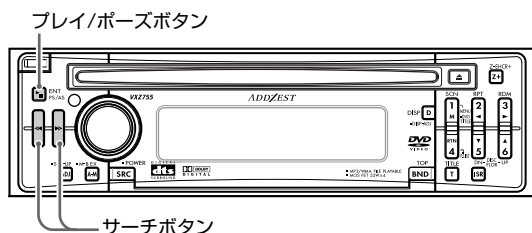
- ビデオCDのメニュー画面が表示されます。
- 表示される内容はビデオCDのディスクによって異なります。
- ディスクによってはこの操作が機能しない場合もあります。



2 画面の表示に沿って[▲][▼][◀][▶]ボタンや、リモコンの10キーボタンで項目を選び、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押して決定する

→選択された項目のビデオイメージが再生されます。

ビデオCDを見る



再生を停止する

- 再生中に、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)

本体	リモコン
ENT PS/AS	

→再生が停止します。

■再生を再開させるには…

●PBCがONのとき

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

→ディスクの頭から再生が始まります。

●PBCがOFFのとき

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

→止めた位置から再生が始まります。

一時停止する

- 再生中に、プレイ/ポーズボタンを押す

本体	リモコン
ENT PS/AS	

→再生が一時停止します。

■再生を再開させるには…

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

→止めた位置から再生が始まります。

スロー再生する

- 再生中にリモコンのスローボタンを押し続ける。または一時停止中に[▶▶]ボタンを押し続ける

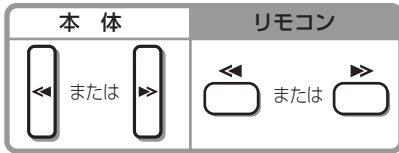
本体	リモコン
一時停止中に 	再生中に 一時停止中に SLOW または

→ボタンを押している間、1/2倍速でスロー再生します。

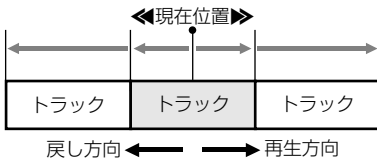
- 戻す方向では、スロー再生できません。また、スロー再生中は音声を再生できません。

トラックのスキップ(頭出し)

1 再生中に、サーチボタンを押す



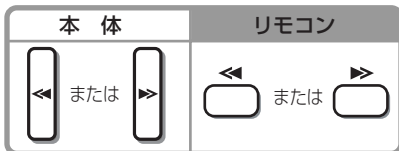
→押した回数だけトラックがスキップして、再生が始まります。



- [▶▶]ボタンを押すと、1つ先のトラックの頭から再生します。
- [◀◀]ボタンを押すと、現在のトラックの頭から再生します。約2秒以内にもう一度このボタンを押すと、1つ前のトラックの頭から再生します。
- サーチボタンを押すとメニュー画面に戻ることがあります。
- PBC機能のあるディスクでも、これらの操作ができない場合があります。

早送り/早戻しする

1 再生中にサーチボタンを押し続ける(1秒以上)



→ボタンを押し続けると、最初は4倍速、3秒後に16倍速になり、ボタンを離すと通常再生になります。

- 早送り/早戻し中は、音声は出力されません。
- ボタンを押すとメニュー画面に戻ることがあります。

トラック番号で頭出しする

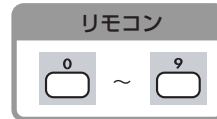
<リモコン操作のみ>

ビデオCDディスクに記録されているトラック番号から頭出しします。

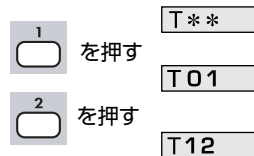
1 再生中に、サーチモードボタンを押す



2 再生させたいトラック番号を、10キーボタン(0~9)で入力する



- トラック番号「12」を入力するには、10キーボタンの「1」を押し、次に「2」を押します。



3 リモコンの[ENT]ボタンを押す

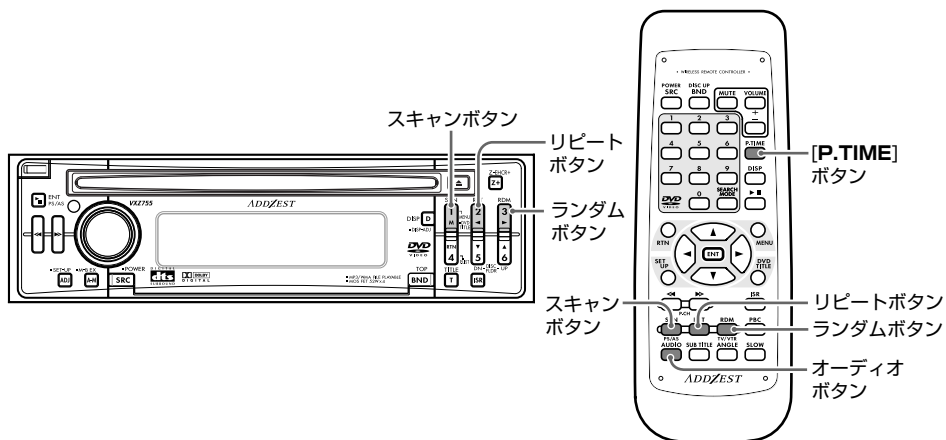


→入力されたトラック番号またはチャプター番号の場面から再生します。

- PBC機能のあるディスクで、さらにPBC ONの場合、この操作はできません。
- 存在しないトラック番号を入力したり、トラック番号での頭出しが禁止されている場合は、[ENT]ボタンを押すと次のように表示され、無効になります。

INVALID

ビデオCDを見る



音声出力を切り換える

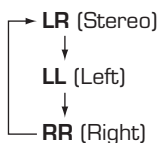
<リモコン操作のみ>

音声の出力方式を切り換えることができます。

1 再生中に、オーディオボタンを押す



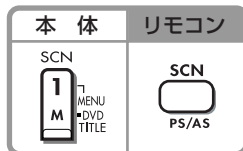
→オーディオボタンを押す度に音声の出力方式が次のように切り換わります。



スキャン再生

全てのトラックの最初の10秒間をスキャン再生します。

1 スキャンボタンを押す



- PBC機能のあるディスクで、さらにPBC ONの場合、この操作はできません。

■スキャン再生を解除するには…

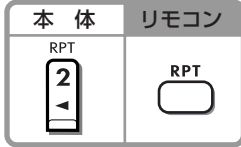
もう一度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「SCN」が消灯し、通常の再生になります。

リピート再生

ビデオCDのトラックをリピート再生します。

1 リピートボタンを押す



- PBC機能のあるディスクで、さらにPBC ONの場合、この操作はできません。

■リピート再生を解除するには…

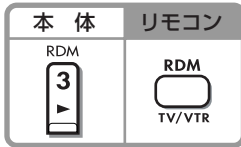
もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「RPT」が消灯し、通常の再生になります。

ランダム再生

ビデオCDの全てのトラックのランダム再生ができます。

1 ランダムボタンを押す



- PBC機能のあるディスクで、さらにPBC ONの場合、この操作はできません。

■ランダム再生を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「RDM」が消灯し、通常の再生になります。

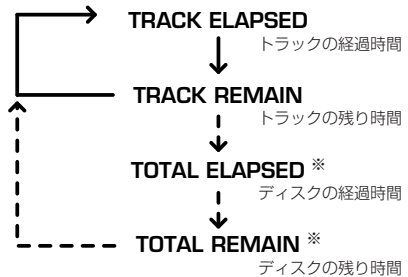
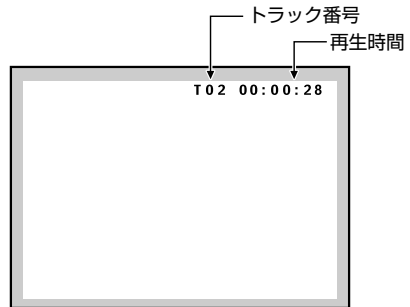
再生状態を表示させる

<リモコン操作のみ>

1 再生中に、[P.TIME]ボタンを押す



→[P.TIME]ボタンを短く押す場合、押すたびに再生状態の表示(ON)と表示消し(OFF)が切り換わります。

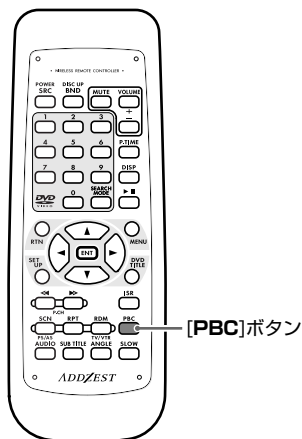


※PBCがOFFの場合に表示されます。

- 再生状態やディスクによっては、表示が異なる場合があります。
- [P.TIME]ボタンを押し続ける(約1秒間)と、時間表示が切り換わります。
- ディスクの種類によっては、一部の場面で[P.TIME]表示がされない場合があります。また[P.TIME]操作ができない場合もあり、次のように表示され、無効になります。

INVALID

ビデオCDを見る



再生操作(PBC)をON/OFFさせる <リモコン操作のみ>

PBC機能があるビデオCDでは、PBCをON/OFFさせることができます。

※ 初期設定は、「ON」です。

1 [PBC]ボタンを押す

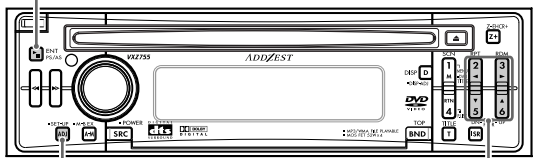


→ ボタンを押すたびにPBCのONとOFFが切り替わります。

- PBCのON/OFFごとに、ディスクの先頭からの再生となります。

メニュー言語等の初期設定を変更する

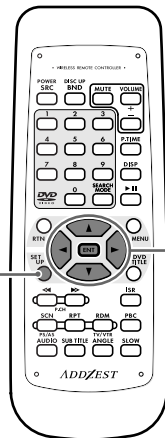
プレイ/ポーズボタン



アジャストボタン

[▲][▼][◀][▶]
(カーソル) ボタン

セット
アップ
ボタン



カーソル、
[ENT]ボタン

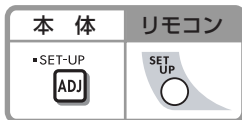
本機
の
操
作

セットアップメニューを選ぶ

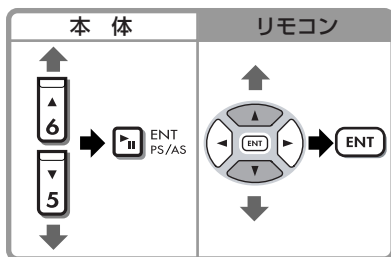
ご注意

- セットアップメニューは、DVDモード中のみ表示されます。
- “PREFERENCES” は、ディスクが入っていないとき、および再生を停止しているときに表示されます。
- “AUDIO SETUP” は、システムチェック時のスピーカー設定を「5.1ch」に設定している場合のみ、表示されます。
- 本項のメニュー設定はモニターに表示されます。設定した言語がディスクに収録されていない場合は、ディスク側で決められた言語で表示されます。

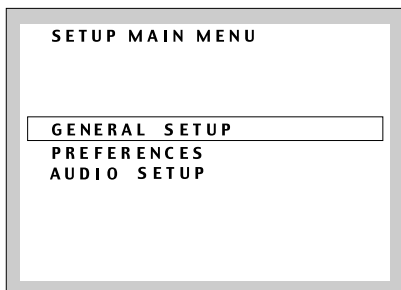
1 アジャストボタンを押し続ける(約1秒間)。またはリモコンのセットアップボタンを押す



2 [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して“GENERAL SETUP”、“PREFERENCES”または“AUDIO SETUP”を選び、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押して決定する



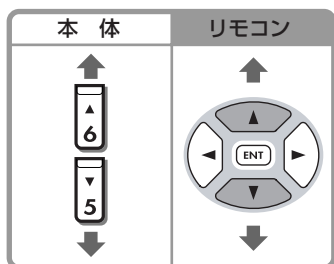
(メインメニュー)



次ページに続く➡

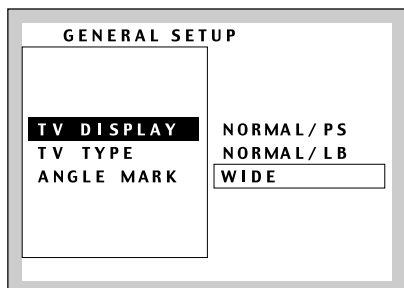
メニュー言語等の初期設定を変更する

3 [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して項目を選ぶ

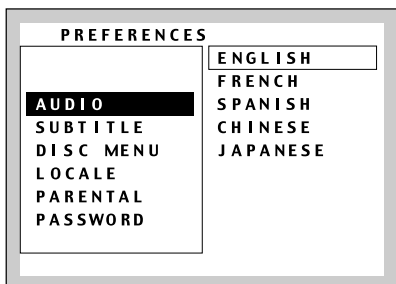


(サブメニュー)

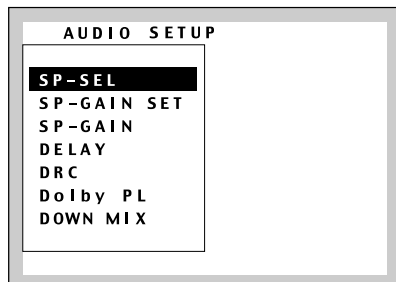
GENERAL SETUP



PREFERENCES



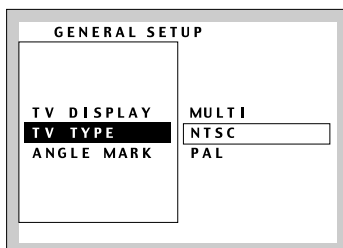
AUDIO SETUP



→各設定する項目へ進んでください。

ご注意

●TV TYPE (テレビタイプ)



●TV TYPEは、項目を選択することはできませんが、本機では対応しておりません。詳しくは、68ページを参照ください。

■メインメニュー画面に戻るには…

[RTN] ボタンを押してください。

■通常画面に戻るには…

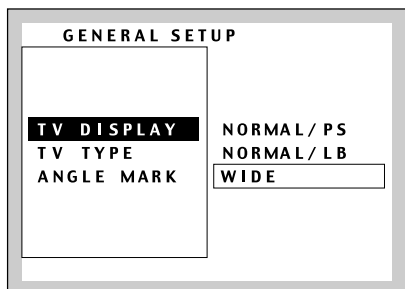
アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押してください。

画面サイズを設定する(TV DISPLAY)

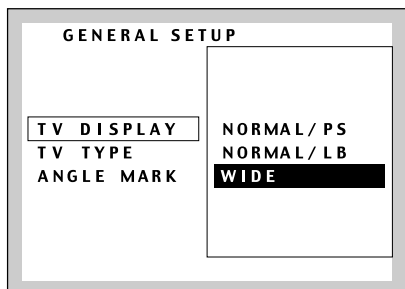
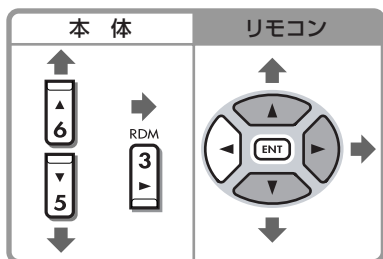
接続するテレビモニターに合わせて設定します。

※初期設定は、「WIDE」です。

1 「セットアップメニューを選ぶ」の手順 1～3の操作で、「GENERAL SETUP」の「TV DISPLAY」を選ぶ



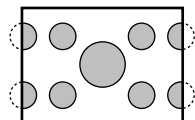
2 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、画面サイズを選ぶ



→ 選択した項目の色が変わります。

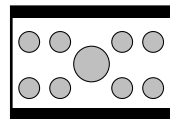
■従来のテレビモニター(4:3)で見るときには…

- NORMAL/PS(パンスキャン)
左右が切れて表示されます。



画像の重要部分を画面いっぱいに表示する機能。場合によっては、パン(スクロール)しながら表示されることもあります。

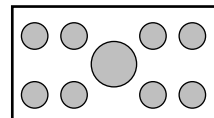
- NORMAL/LB(レターボックス)
上下に黒い帯が入ります。



通常のテレビでシネスコサイズやピスタサイズの映像を表示するために、上下のすき間を黒帯で埋め、映像を切らないで表示する方式です。

■ワイドテレビモニター(16:9)で見るときには

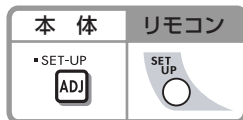
- WIDE(ワイド)



3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



4 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す

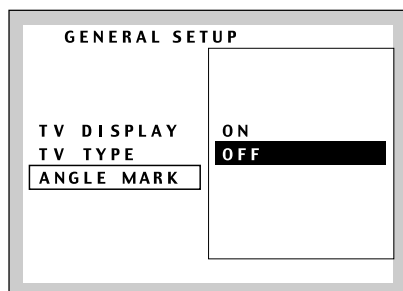


メニュー言語等の初期設定を変更する

テレビタイプを設定する (TV TYPE)

NTSC方式固定のため、設定の必要はありません。誤ってNTSC以外に設定した場合は、以下のいずれかの操作を行って設定をNTSCに戻してください。

- ・ イジェクトボタンを押してディスクを取り出す
- ・ ソースを切り換える
- ・ ACC ON/OFFする

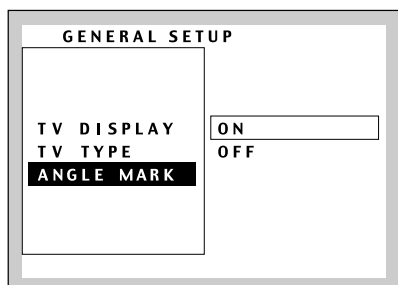


アングルマーク表示を設定する (ANGLE MARK)

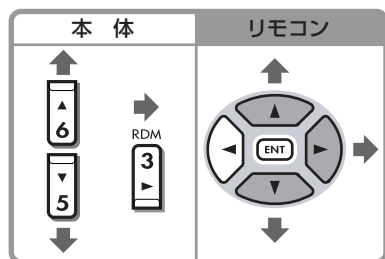
角度切り換えが可能な箇所になると、マルチアングルマークが表示するように設定できます。

※初期設定は、「ON」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順1～3の操作で“GENERAL SETUP”の“ANGLE MARK”を選ぶ



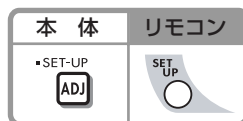
- 2** [▶] ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲] ボタンまたは [▼] ボタンを押して、ON または OFF を選ぶ



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



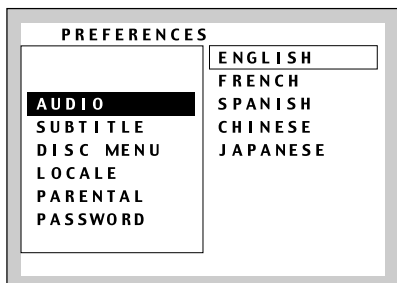
- 4** アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



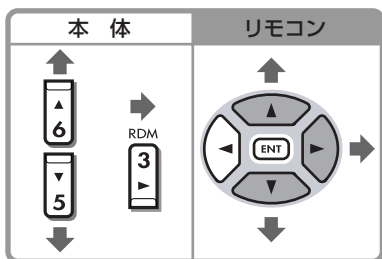
音声言語を設定する(AUDIO)

※初期設定は、「**ENGLISH**」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“PREFERENCES”の
“AUDIO”を選ぶ

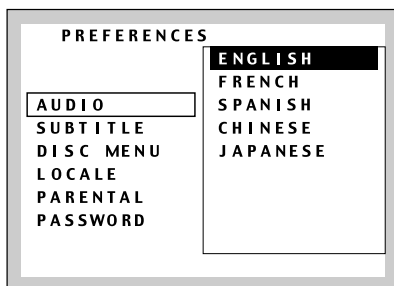


- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、使用言語を選ぶ



ENGLISH
↕
FRENCH
↕
SPANISH
↕
CHINESE
↕
JAPANESE

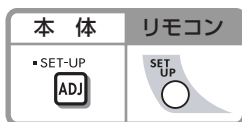
の順に切り換わります。



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す

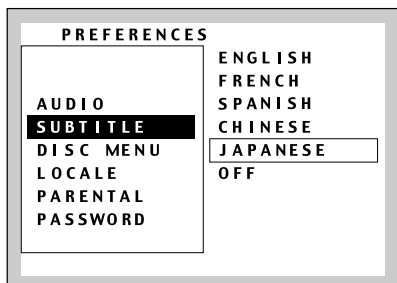


メニュー言語等の初期設定を変更する

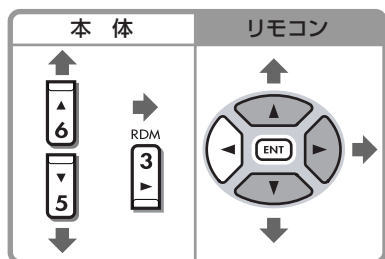
サブタイトルの言語を設定する(SUBTITLE)

※初期設定は、「JAPANESE」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“PREFERENCES”の
“SUBTITLE”を選ぶ

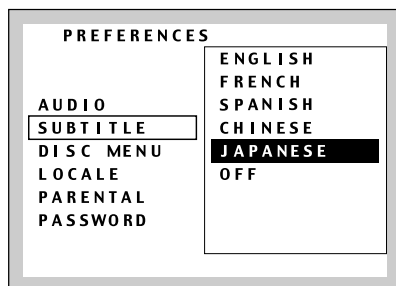


- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、使用言語を選ぶ



ENGLISH
↕
FRENCH
↕
SPANISH
↕
CHINESE
↕
JAPANESE
↕
OFF

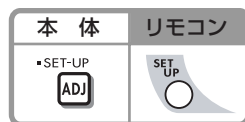
の順に切り換わります。



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



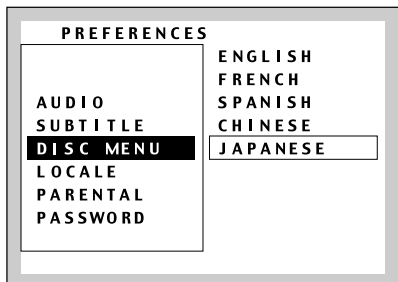
- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す



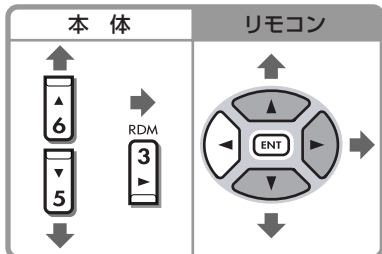
DISC MENUの言語を設定する(DISC MENU)

※初期設定は、「JAPANESE」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“PREFERENCES”の
“DISC MENU”を選ぶ

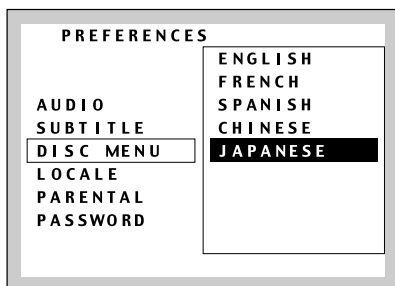


- 2** [▶] ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲] ボタンまたは[▼] ボタンを
押して、使用言語を選ぶ



ENGLISH
↕
FRENCH
↕
SPANISH
↕
CHINESE
↕
JAPANESE

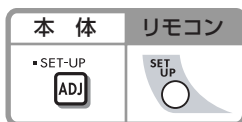
の順に切り換わります。



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT] ボタンを押す



- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す



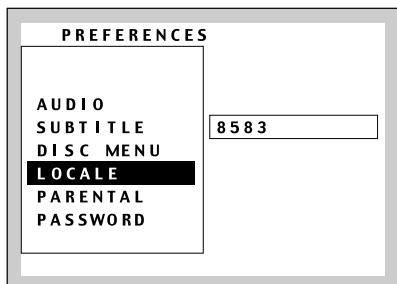
メニュー言語等の初期設定を変更する

カントリーコードを設定する(LOCALE)

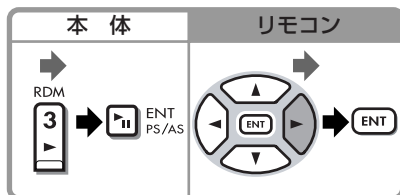
パレンタルレベルを設定するときの国番号を設定します。

※初期設定は、「8583」です。

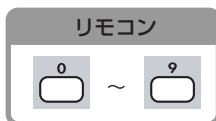
- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順1～3の操作で“PREFERENCES”の“LOCALE”を選ぶ



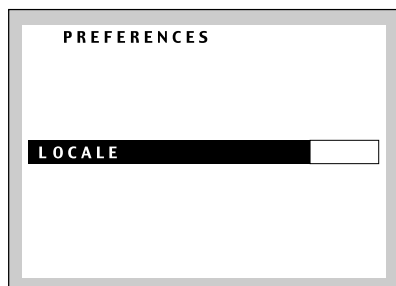
- 2** [▶] ボタンを押してカーソルを右側に移動し、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT] ボタンを押す



- 3** 10キーボタンを押して、4桁の国番号を入力する



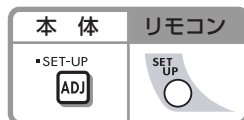
- カントリーコード(国番号)は、
日本 7480 を入力してください。



- 4** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT] ボタンを押す



- 5** アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



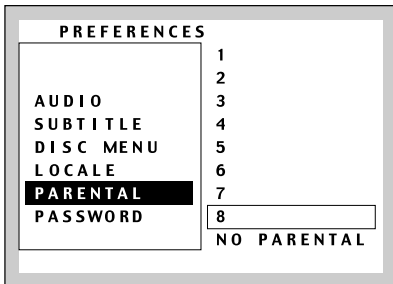
パレンタルレベルを設定する(PARENTAL)

パレンタルロックのレベル(視聴制限)を変えられます。

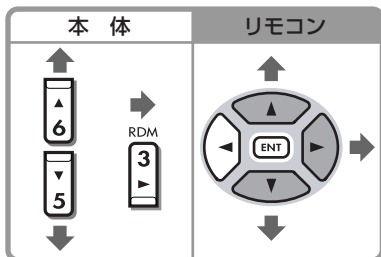
子供に見せたくないシーンをカットしたり、あらかじめ用意した別のシーンに自動的に差し替える機能です。例えば過激な暴力シーンや性描写などを、無難なシーンと差し替え、最初からそのような作品であったように見ることができます。

※初期設定は、「8 (ADULT)」です。

1 「セットアップメニューを選ぶ」の手順 1～3の操作で“PREFERENCES”の “PARENTAL”を選ぶ



2 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、パレンタルレベルを選ぶ

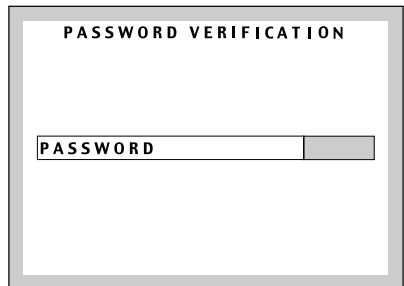


→1から8または“NO PARENTAL”が選べます。

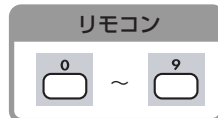
3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



→PASSWORD VERIFICATION画面が表示されます。

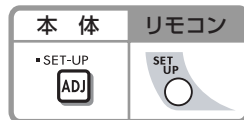


4 10キーボタンで、4桁のパスワードを入力する



• パスワードの初期設定は、「0000」です。

5 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す

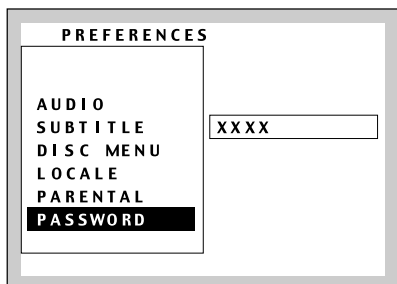


• パレンタルレベルの変更は、ディスクチェンジ後に有効となります。

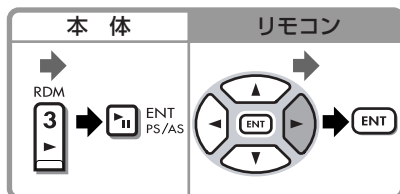
メニュー言語等の初期設定を変更する

パスワードを設定する(PASSWORD)

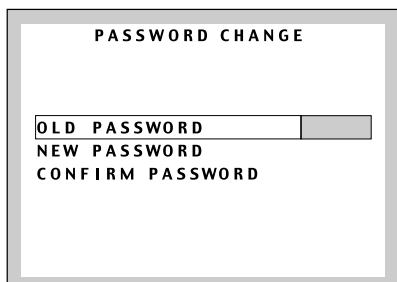
- 1 「セットアップメニューを選ぶ」の手順1～3の操作で“PREFERENCES”の“PASSWORD”を選ぶ



- 2 [▶] ボタンを押してカーソルを右側に移動し、プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT] ボタンを押す

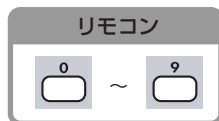


→PASSWORD CHANGE画面が表示されます。

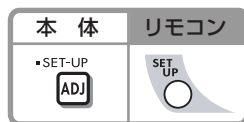


OLD PASSWORD:
現在のパスワード
NEW PASSWORD:
設定したいパスワード
CONFIRM PASSWORD:
確認用として再度設定したいパスワード

- 3 10キーボタンで、4桁のパスワードをOLD PASSWORD、NEW PASSWORD、CONFIRM PASSWORDの順に入力する



- 4 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



- パスワードは、お忘れにならないようにメモなどに書き写しておいてください。

■登録した暗証番号を忘れてしまったときは…

視聴年齢制限画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、4桁の数字「4356」(グローバルパスワード)を入力してください。

ご注意

- 視聴制限されたディスクを再生するときに暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、正しい暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

スピーカーの有無を設定する(SP-SEL)

フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、サブウーファースピーカーの有無を設定します。

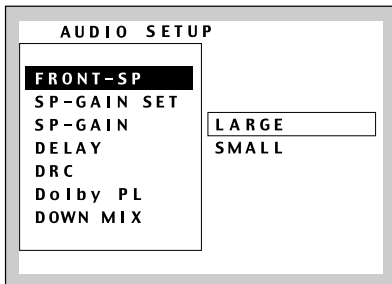
- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“AUDIO SETUP”の
“SP-SEL”を選ぶ



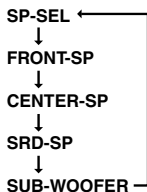
- 2** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



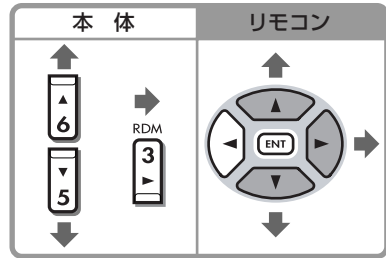
→SP-SEL画面が表示されます。



[ENT] ボタンを押すたびに、スピーカー設定が次のように切り換わります。



- 3** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、スピーカーの有無を選ぶ



FRONT-SP (フロントスピーカー)	LARGE*
	SMALL
CENTER-SP (センタースピーカー)	SMALL*
	OFF
SRD-SP (サラウンドスピーカー)	LARGE*
	SMALL
	OFF
SUB-WOOFER (サブウーファースピーカー)	ON*
	OFF

※初期設定です。

FRONT-SPを「**SMALL**」に設定した場合は、以下の制限が発生します。

- SRD-SPを「**LARGE**」に設定することはできません。
- SUB-WOOFERを「**OFF**」に設定することはできません。
- 以下の4パターンの設定のみ可能です。

FRONT-SP	CENTER-SP	SRD-SP	SUB-WOOFER
SMALL	SMALL	SMALL	ON
SMALL	SMALL	OFF	ON
SMALL	OFF	SMALL	ON
SMALL	OFF	OFF	ON

- 4** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



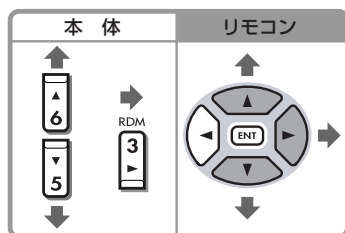
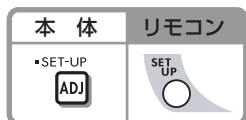
次ページに続く▶▶

メニュー言語等の初期設定を変更する

5 [◀]ボタンを押してカーソルを左側に戻し、手順2、3、4を繰り返して、各スピーカーの有無を設定する

2 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して、ONまたはOFFを選ぶ

6 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



スピーカーの出力レベルを調整するかどうかを設定する(SP-GAIN SET)

次ページのSP-GAINでスピーカーの出力レベルを調整するかどうかを設定します。

ご注意

- 「OFF」に設定した場合は、SP-GAINの調整はできません。
- 「SP-GAIN SET」は、ディスクが入っていないとき、および再生を停止しているときに表示されます。

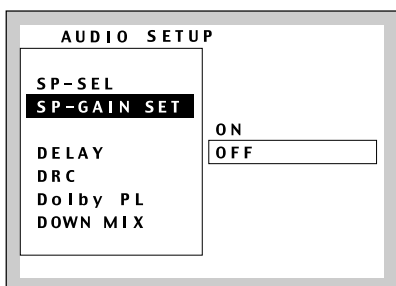
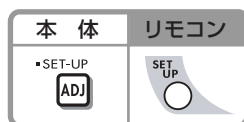
※初期設定は、「OFF」です。

1 「セットアップメニューを選ぶ」の手順1～3の操作で"AUDIO SETUP"の"SP-GAIN SET"を選ぶ

3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



4 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



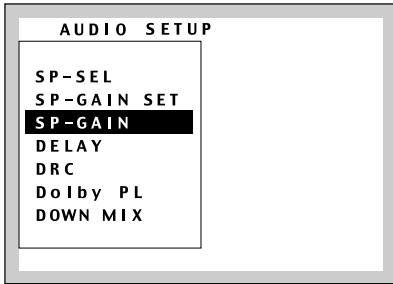
スピーカーの出力レベルを調整する(SP-GAIN)

ご注意

この機能は、ディスクが入っているとき、または「スピーカーの出力レベルを調整するかどうかを設定する」(76ページ)で「OFF」を選択した場合は設定できません。
また、「スピーカーの有無を設定する」(75ページ)で「OFF」を選択したスピーカーについては設定できません。

※初期設定は、「0dB」です。

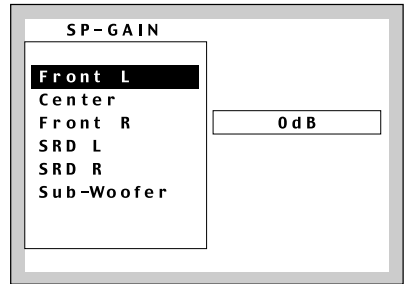
- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“AUDIO SETUP”の“SP-GAIN”を選ぶ



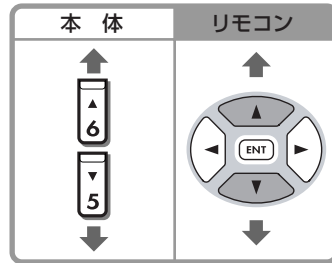
- 2** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



→SP-GAIN画面が表示されます。



- 3** [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して項目を選ぶ



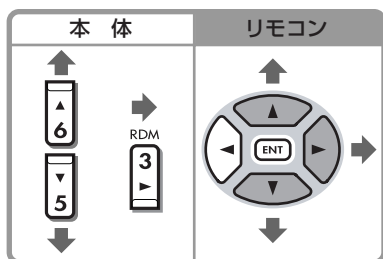
FRONT L
↑
CENTER
↓
FRONT R
↑
SRD L
↓
SRD R
↓
SUB-WOOFER

の順に切り換わります。

→選択したスピーカーのテストトーン(「ザー」という音)が出力されます。

■メニュー言語等の初期設定を変更する

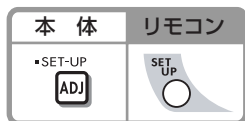
- 4 [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して出力レベルを調整する



→出力レベルの調整範囲は、「-6dB」～「+6dB」です。

- 5 [◀]ボタンを押してカーソルを左側に戻し、手順3、4を繰り返して、各スピーカーの出力レベルを設定する

- 6 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



ご注意

- DVD、CDなどをミュート（消音）して再生している場合は、テスト音が出力されません。
リモコンの[MUTE]ボタンを押してミュートを解除するか、音量を調節してください。

スピーカーのディレイ時間を調整する(Delay)

スピーカーの取り付けや車の大きさにより、それぞれのスピーカーからリスニング位置に届く音のタイミングが異なります。それぞれのスピーカーのディレイ時間を調整することにより、フロントスピーカーの出力と同じタイミングで聞こえるようになります。

ご注意

「スピーカーの有無を設定する」(75ページ)でCENTER-SPおよびSRD-SPを「OFF」にした場合は設定できません。

※初期設定は、「0ms」です。

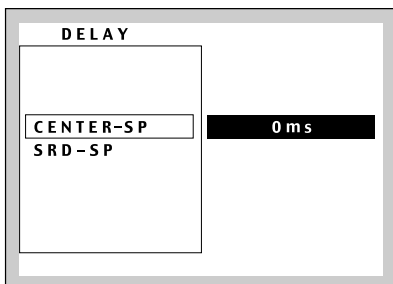
- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順1~3の操作で“AUDIO SETUP”の“DELAY”を選ぶ



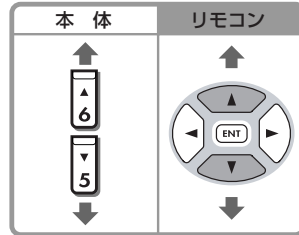
- 2** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



→DELAY画面が表示されます。



- 3** [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して項目を選ぶ

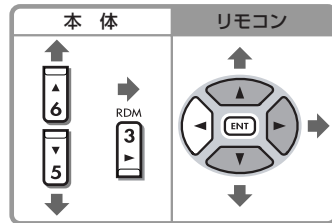


CENTER-SP

↓
SRD-SP

の順に切り換わります。

- 4** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して数値を選ぶ

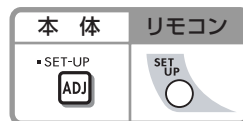


→ディレイ時間の調整範囲は、“CENTER-SP”時は「0ms」～「5ms」(1msステップでの調整)、“SRD-SP”時は「0ms」～「15ms」(3msステップでの調整)です。

- 5** プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT]ボタンを押す



- 6** アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す

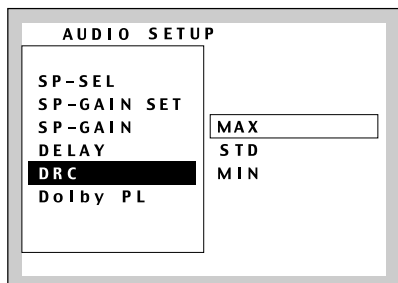


メニュー言語等の初期設定を変更する

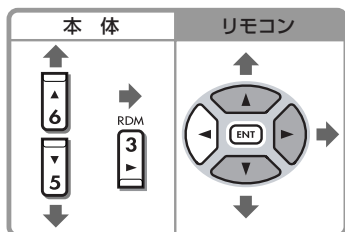
ダイナミックレンジを調整する(DRC)

※初期設定は、「MAX」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“AUDIO SETUP”の
“DRC”を選ぶ



- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、設定を選ぶ

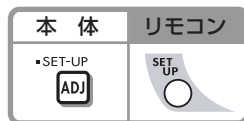


→ダイナミックレンジの設定範囲は、「MIN」
「STD」「MAX」です。

- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す

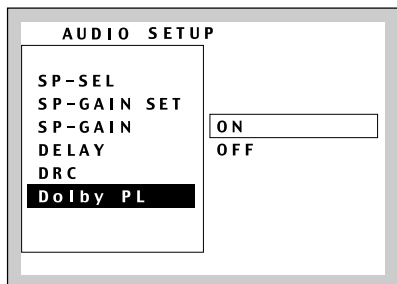


ドルビープロロジックデコードの処理を設定する(Dolby PL)

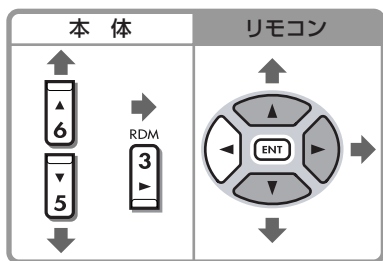
2チャンネルソースをドルビープロロジックデコードで処理するか、設定します。

※初期設定は、「ON」です。

- 1** 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“AUDIO SETUP”の
“Dolby PL”を選ぶ



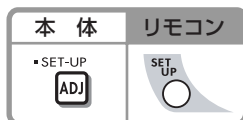
- 2** [▶]ボタンを押してカーソルを右側に
移動し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを
押して、ONまたはOFFを選ぶ



- 3** プレイ/ポーズボタン、またはリモコン
の[ENT]ボタンを押す



- 4** アジャストボタンを押すか、またはリ
モコンのセットアップボタンを押す



メニュー言語等の初期設定を変更する

ダウンミックスを設定する(DOWN MIX)

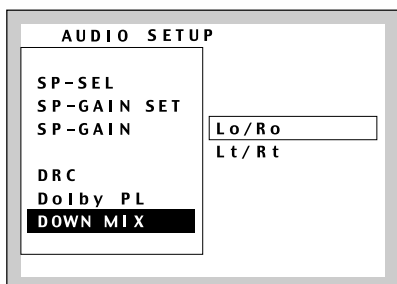
チャンネルフォーマットが出力チャンネル構成に一致しない場合に、ダウンミックスする方式を設定します。

ご注意

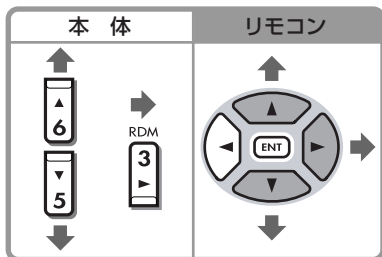
- この機能は、「スピーカーの有無を設定する」(75ページ)でFRONT-SP以外のスピーカーを「OFF」に設定した場合にのみ、設定できます。

※初期設定は、「Lo/Ro」です。

- 1 「セットアップメニューを選ぶ」の手順
1～3の操作で“AUDIO SETUP”の“DOWN MIX”を選ぶ



- 2 [▶] ボタンを押してカーソルを右側に移動し、[▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して、Lo/Ro または Lt/Rt を選ぶ



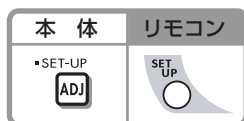
Lo/Ro : ディスクリートの5チャンネルマスターなどから2チャンネルステレオへダウンミックスする方式です。

Lt/Rt : 音声をマトリックスエンコード処理して、2チャンネルのステレオトラックへ記録する方式です。

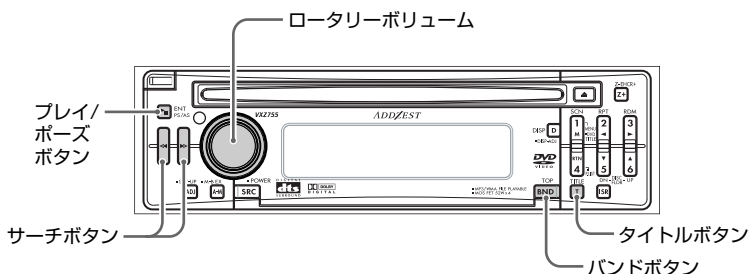
- 3 プレイ/ポーズボタン、またはリモコンの[ENT] ボタンを押す



- 4 アジャストボタンを押すか、またはリモコンのセットアップボタンを押す



タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオやTVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時) 入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオモード : 30タイトル
- TVモード : 20タイトル
- CDモード : 50タイトル
- CDチェンジャーモード
DCZ625 : 100タイトル

1 ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「**USER TITLE**」に設定する

- ラジオ/TVモードのエリアを「**USER TITLE**」に切り換えるには、「**チューナーエリアを設定する**」(93ページ)、「**TVエリアを設定する**」(94ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

3 タイトルボタンを押して、ユーザータイトル表示にする(CD演奏時)

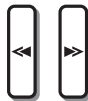


4 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



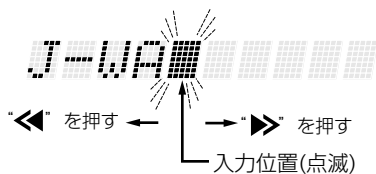
→タイトル入力モードになります。

5 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、入力位置を決める



→点滅している文字位置が左右に移動します。

■タイトルをつける



- 入力できる文字数は、10文字です。

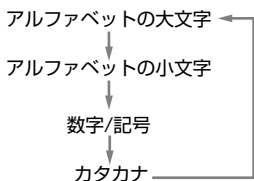
ご注意

- ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 バンドボタンを押して、文字の種類を選ぶ



→押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。



- アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z (空白)
- アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
. , ' : ; ! ? * # \$ % & * + - × / = () < >
" → ← ↑ ↓ ↖ ↗ ↘ ↙ ☆ ★ ♥ ♦ ♣ ♠ ♪ ♫ ♬ ♭
- カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワランアイウエオツヤユヨ・ー「」

7 ロータリーボリュームを回して、入力文字を決める



8 手順5、6、7を繰り返して、タイトルを入力する

9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

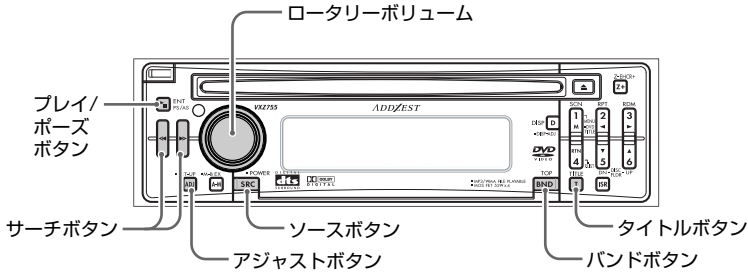
- CD演奏中にメモリーしたCDのタイトルは、そのディスクをCDチェンジャーで演奏した場合、メモリーしたタイトルは表示することができません。ただし、CDチェンジャー演奏中にメモリーしたCDのタイトルは、そのディスクを本機で演奏した場合、メモリーしたタイトルを表示することができます。

■ タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには…

ディスプレイボタンを押してください。

■ タイトルメモリーがいっぱいになると…

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。



イージーインプットをする

イージーインプットについて…

本機は、チューナー/TVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「**USER TITLE**」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

- イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

1 ラジオまたはTVモードにしてアジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「**TUNE AREA E**」または「**TV AREA E**」を選ぶ

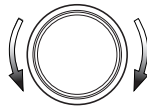


3 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定されているエリア名を表示します。

4 ロータリーボリュームを回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



- 受信エリアについては、「**チューナーエリアを設定する**」(93ページ)「**TVエリアを設定する**」(94ページ)をご覧ください。

5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



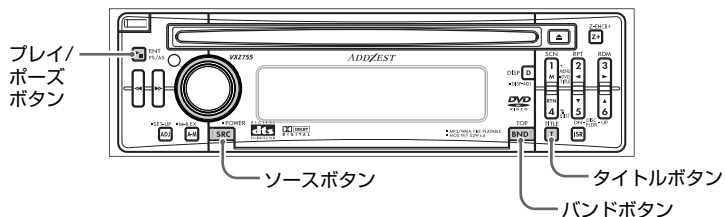
→ピーと鳴って、「**TUNE AREA E**」または「**TV AREA E**」表示に戻ります。

6 アジャストボタンを押して元のモードに戻る



→イージーインプットしたタイトルを表示します。

■タイトルをつける



タイトルを削除する

- 1** ソースボタンを押してモードを選ぶ (ラジオ、TV、DVDまたはCDチェンジャー)



- 2** 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

- 3** タイトルボタンを押して、ユーザータイトル表示にする (CD演奏時)



- 4** タイトルボタンを押し続ける (約1秒間)



→表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

- 5** バンドボタンを押し続ける (約1秒間)



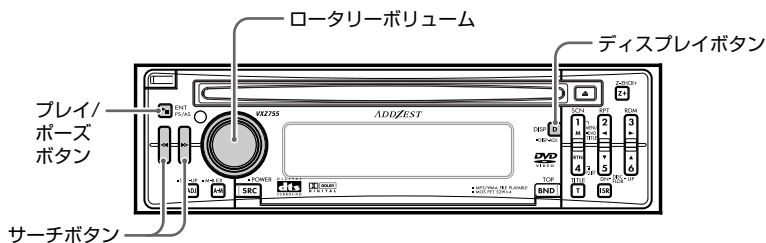
→タイトルが消えます。

- 6** プレイ/ポーズボタンを押し続ける (約2秒間)



→タイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルが削除されます。

画面の設定を変更する(ディスプレイジャストモード)



設定項目を選ぶ

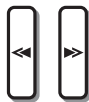
1 ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



DISP-ADJ

→ タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK**」等を表示して、ディスプレイジャストモードになります。

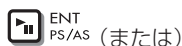
2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、設定する項目を選ぶ



• 押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させて選ぶ

または、ロータリーボリュームを回して設定する



ENT PS/AS (または)



■元のモードに戻すには…

設定終了後に、ディスプレイボタンを押してください。

CLOCK

• 時計の設定 (30ページ参照)

SCREEN SVR

• スクリーンセーバーの設定

MSG INPUT

• メッセージ入力の設定

AUTO SCROLL

• タイトルスクロール方法の設定

DIMMER

• デイマーの設定

CONTRAST

• ディスプレイのコントラスト調整

■画面の設定を変更する(ディスプレイジャストモード)

スクリーンセーバーを設定する(SCREEN SVR)

スクリーンセーバーについて…

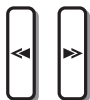
3種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

※初期設定は、「SS ON」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイジャストモードにする



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「SCREEN SVR」を選ぶ



- 3 ローターボリュームを回して、パターン名を選ぶ



→スクリーンセーバーは次の3種類です。

- SS OFF
スクリーンセーバーは表示されません。
- SS ON
- SS MESSAGE

- 4 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



メッセージ入力を設定する(MSG INPUT)

メッセージ入力について…

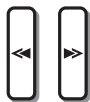
本機では英数カナ文字を使用して30文字まで入力することができ、この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。

※初期設定は、「Welcome to ADDZEST」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイジャストモードにする



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「MSG INPUT」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



→メッセージ入力モードになります。

- 4 「タイトルを入力する」(83ページ)の手順5~7を繰り返して、メッセージを入力する

- 5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「MSG MEMORY」を表示してメモリーされます。

- プレイ/ポーズボタンを押したときは、メッセージ入力モードを終了し、元の状態に戻ります。

- 6 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROL)

タイトルスクロールについて…

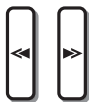
タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイアジャストモードにする



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「AUTO SCROL」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



ON :自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。

OFF :タイトルボタンを押し続けると(約1秒間)スクロールします。

- 4 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

ディマーについて…

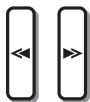
車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。

※初期設定は、「ON」です。

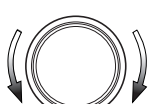
- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイアジャストモードにする



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「DIMMER」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



■画面の設定を変更する(ディスプレイジャストモード)

ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)

コントラスト機能について…

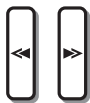
ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

※初期設定は、「5」です。

- 1 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ディスプレイジャストモードにする



- 2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「CONTRAST」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを回して、コントラストを調整する

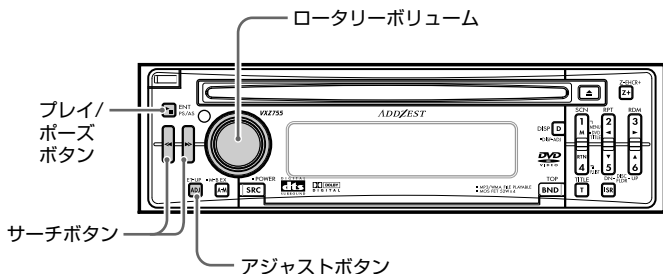


→コントラストの調整範囲は、「1」～「16」の範囲です。ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。

- 4 ディスプレイボタンを押して、元のモードに戻る



設定を変更する(アジャストモード)



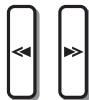
設定項目を選ぶ

1 アジャストボタンを押す



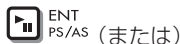
→タイトル表示部に前回調整した項目「**BEEP**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、設定する項目を選ぶ



・押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させて選ぶ または、ロータリーボリュームを回して設定する



(または)



■元のモードに戻すには…

設定終了後に、アジャストボタンを押してください。

- BEEP**
・ビープ音の設定
- ↑↓
SUB-W LPF
・サブウーファーローパスフィルタの設定
- ↑↓
AMP CANCEL
・内蔵アンプの設定
- ↑↓
TUNE AREA
・チューナーエリアの設定
- ↑↓
TV AREA
・TVエリアの設定
- ↑↓
TV ST/MONO
・ステレオ/モノラルの設定
- ↑↓
MAIN/SUB
・MAIN/SUBの設定
- ↑↓
TV DIVER
・TVダイバーの設定
- ↑↓
AUX SENSE
・携帯用オーディオの入力レベルを設定
- ↑↓
SYSTM CHK
・システムチェックの開始

■設定を変更する(アジャストモード)

ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

ビープ音について…

操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

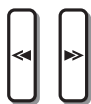
※初期設定は、「ON」です。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする

•SET-UP



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「BEEP」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る

•SET-UP



ローパスフィルターを設定する(SUB-W LPF)

ローパスフィルターについて…

使用するサブウーファーに合わせて、フィルター周波数を設定します。

ご注意

- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」で、「スピーカーの有無を設定する」(75 ページ)でサブウーファーの設定が「ON」のときに調整できます。
- この機能は、システムチェック時のスピーカー設定が「5.1ch」でDVD/DTS-CD再生中は、設定できません。
- この機能は、「ドルビープロロジックデコードの処理を設定する」(81ページ)で「ON」を選択した場合は、設定できません。

※初期設定は、「THROUGH」です。

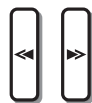
ただし、システムチェック時のスピーカー設定を「5.1ch」に設定している場合は、初期設定は「50Hz」です。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする

•SET-UP



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「SUB-W LPF」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、調整する



- 「SUB-W LPF」の調整範囲は、THROUGH、50Hz、80Hz、120Hzです。

4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る

•SET-UP



内蔵アンプを設定する (AMP CANCEL)

アンプキャンセルについて…

外部アンプ使用時、内蔵アンプの出力を停止することができます。

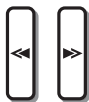
外部アンプを接続した場合は、「ON」に設定してください。

※初期設定は、「OFF」です。

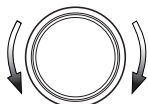
1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「AMP CANCEL」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

•内蔵アンプ使用時は、必ず「OFF」に設定してください。

チューナーエリアを設定する (TUNE AREA)

チューナーエリアについて…

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

※初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域関東)です。

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」にしてください。
また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルを入力する」(83ページ)をご覧ください。

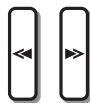
イーザーインプット機能について…

チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリーへ登録されます。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「TUNE AREA E」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定されているエリア名を表示します。

4 ロータリーボリュームを回して、チューナーエリアを選ぶ



次ページに続く➡

■設定を変更する(アジャストモード)

→ロータリーボリュームを回すたびに、エリアが切り換わります。

エリアは次の11種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
ホッカイドウ	北海道
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

5 プレイ/ポーズボタンを押して、設定項目表示に戻る



6 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



TVエリアを設定する (TV AREA)

テレビエリアについて…

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

※初期設定は、「**カントウ**」(関東)です。

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルを入力する**」(83ページ)をご覧ください。

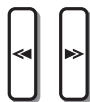
イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「TV AREA」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



→設定されているエリア名を表示します。

4 ロータリーボリュームを回して、TVエリアを選ぶ



→ロータリーボリュームを回すたびに、エリアが切り換わります。

エリアは次の22種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

5 プレイ/ポーズボタンを押して、設定項目表示に戻る



6 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



TV受信時のステレオ/モノラルを設定する(TV ST/MONO)

ステレオ(ST)/モノラル(MONO)について…

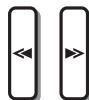
TV放送受信時の音声(ステレオ/モノラル)を設定します。(TVチューナー接続時)
※初期設定は、「TV ST」です。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする

•SET-UP



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「TV ST/MONO」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、「TV ST」または「TV MONO」を選ぶ



TV ST : ステレオに設定します。

TV MONO : モノラルに設定します。

4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る

•SET-UP



■設定を変更する(アジャストモード)

TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

主音声(MAIN)/副音声(SUB)について…

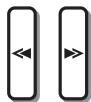
TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。(TVチューナー接続時)

※初期設定は、「TV MAIN」です。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「MAIN/SUB」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、「TV MAIN」または「TV SUB」を選ぶ



TV MAIN : 主音声を再生します。

TV SUB : 副音声を再生します。

4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

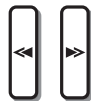
※初期設定は、「ON」です。

TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、「TV DIVER」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



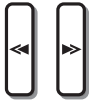
携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENSE)

本機に接続された市販の携帯用オーディオの入力レベルを設定します。
※初期設定は、「MID」です。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「AUX SENSE」を選ぶ



→「AUX SENSE」を表示した後、「AUX MID」を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「HIGH」、「MID」または「LOW」を選ぶ



4 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る



システムチェックを開始する(SYSTEM CHK)

本機と接続機器の確認(システムチェック)を行います。

1 アジャストボタンを押して、アジャストモードにする



2 サーチボタンの[◀◀]または[▶▶]を押して、「SYSTEM CHK」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約1秒間)



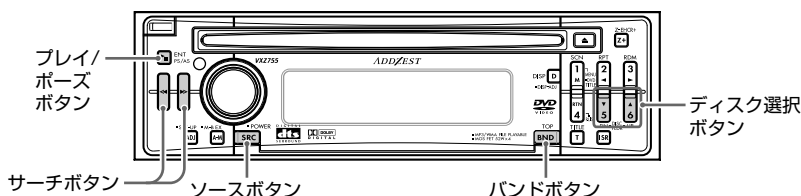
→システムチェックを開始します。

- システムチェック完了後、ロータリーボリュームを回してスピーカーの設定を行い、プレイ/ポーズボタンを押すと元のモードに戻ります。スピーカー設定について詳しくは、「システムチェック/スピーカー設定時のディスプレイ表示」(21ページ)をご覧ください。

ご注意

- システムチェックでスピーカー設定を変更した場合、以前に設定した“AUDIO SETUP”の設定値は初期値に戻ります。

CD/MDチェンジャーを操作する



CD/MDチェンジャーについて…

別販のCeNET 結線対応のCD/MDチェンジャーを接続すると、本機でCD/MDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET 結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは…

ソースボタンを押して、接続したチェンジャーを選択してください。(ソースボタンを押すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示されません。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。
- タイトル表示については、「**タイトル表示を切り換える**」(32ページ)をご覧ください。

チェンジャーモードを選ぶ

1 ソースボタンを押して、チェンジャーモードを選ぶ



→チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↓
AUX ← (TV) ← (MDチェンジャー) ←

- 接続していない機器のモードは表示されません。

聴きたいディスクを選ぶ

1 ディスク選択ボタンまたはバンドボタンを押す



→ディスプレイのディスクNo.が点滅して、演奏をはじめます。

- MDチェンジャーまたはマガジンにディスクが入っていない場合には、その番号は飛ばします。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの
[▶▶]を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの
[◀◀]を2回押す



→ [▶▶]を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

→ [◀◀]を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの[◀◀]を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 再生中にサーチボタンを押し続ける(1秒以上)



演奏を止める(一時停止をする)

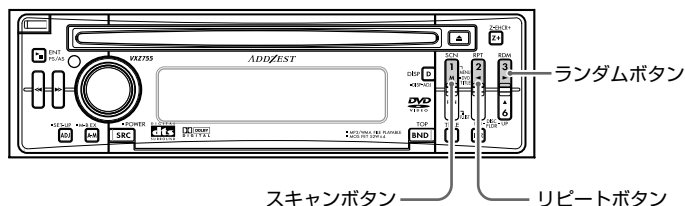
1 プレイ/ポーズボタンを押す



→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

- **続けて演奏を聴きたいときは…**
もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

CD/MDチェンジャーを操作する



聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

チェンジャー内のディスク全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す



→ディスプレイの「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRK SCAN**」を表示して、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**SCN**」が消灯し、通常の演奏になります。

聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について…

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「**ALL**」と「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「**DSC SCAN**」を表示し、演奏している曲の次のディスクからスキャン演奏します。

■ ディスクスキャン演奏を解除するには…

もう一度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**ALL**」と「**SCN**」が消灯し、通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く (リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す



→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRK REPEAT**」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「**ALL**」と「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**DSC REPEAT**」を表示して、ディスクリピート演奏をします。

■ ディスクリピート演奏を解除するには…

もう一度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く (ランダム演奏)

ランダム演奏について…
ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す



→ディスプレイの「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRK RANDOM**」を表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダムに 聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について…
チェンジャー内の全てのディスクの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



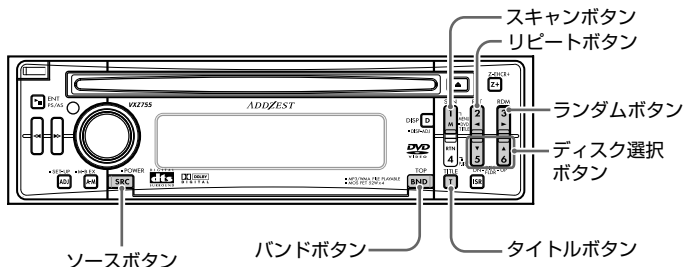
→ディスプレイの「**ALL**」と「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**DSC RANDOM**」を表示して、ディスクランダム演奏をします。

■ ディスクランダム演奏を解除するには…

もう一度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

MDデッキでグループ編集MDを聴く



この章では、グループ編集MD再生機能付デッキを接続したときのグループ機能に関連する操作および注意事項について説明します。

その他の基本的事項については、「CD/MP3/WMAを聴く」(51～58ページ)をご覧ください。

グループ機能をON/OFFする

グループ機能について…

グループで編集されたMDを再生したときに、グループ別の再生が可能となり、チェンジャーのような感覚で操作することができます。

- 通常のMDでは、グループ機能のON/OFFはできません。

※初期設定は、「OFF」です。

1 ソースボタンを押して、MDデッキモードにする



2 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→バンドボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

グループ機能をONに設定すると、ディスプレイに「GROUP ON」を表示します。

グループ編集MDを演奏する

グループ機能がONに設定されている場合には、ディスク情報の読み込み後、グループ順に演奏を始めます。

●グループ機能「ON」のとき

グループ順に演奏します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて演奏します。

■グループの最初の曲を聴くには…

バンドボタンを押してください。



→演奏中のグループの最初の曲から演奏します。

■グループ内の曲をランダムに演奏するには…

ランダムボタンを押してください。



→演奏中のグループ内の曲を順不同に演奏します。

■グループタイトルを表示を切り換えるには…

タイトルボタンを押してください。



→押すたびに、ディスクタイトル→グループタイトル→トラックタイトルと切り換わります。

- グループ編集MDでない場合は、グループタイトル表示中に「NO GROUP」と表示します。

●グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、トラックNo.の順に演奏します。

グループを切り換える

1 ディスク選択ボタンを押す



→ [5 DN] を押したときは、前のグループに、
[6 UP] を押したときは、次のグループに移
ります。

聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループスキャン演奏について…

収録されている全グループの最初の曲を
10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒 間)



→ディスプレイの「ALL」と「SCN」が点灯し、
タイトル表示部に「GRP SCAN」を表示し、
演奏している曲の次のグループからスキャ
ン演奏します。

■グループスキャン演奏を解除する には…

もう一度、スキャンボタンを押してくだ
さい。

→ディスプレイの「ALL」と「SCN」が消灯
し、通常の演奏になります。

1つのグループを繰り返し聴 く(グループリピート演奏)

グループリピート演奏について…

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏し
ます。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「ALL」と「RPT」が点灯し、
タイトル表示部に「GRP REPEAT」を表示し
て、グループリピート演奏をします。

■グループリピート演奏を解除する には…

もう一度、リピートボタンを押してくだ
さい。

→ディスプレイの「ALL」と「RPT」が消灯し、
通常の演奏になります。

全グループの演奏をランダムに 聴く(グループランダム演奏)

グループランダム演奏について…

収録されている全てのグループの曲を順不
同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



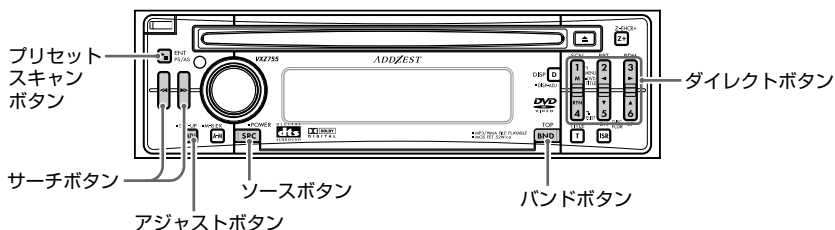
→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が点灯し、タ
イトル表示部に「GRP RANDOM」を表示して、
グループランダム演奏をします。

■グループランダム演奏を解除する には…

もう一度、ランダムボタンを押してくだ
さい。

→ディスプレイの「ALL」と「RDM」が消灯
し、通常の演奏になります。

テレビを見る



TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET 結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、別販のTVチューナーとモニターが必要です。



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティーアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティーを設定する」(96ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(94ページ)で受信エリアを設定してください。

TVモードを選ぶ

1 ソースボタンを押して、TVモードを選ぶ

■ POWER



→ 押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↓
AUX ↔ (TV) ↔ (MDチェンジャー) ←

- 接続していない機器のモードは表示されません。

2 モニター側の映像入力を切り換える

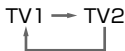
- テレビやビデオを見る場合、モニター画面を自動的に切り換えることはできません。あらかじめモニター側の入力切換を「TV」に切り換えてください。切換方法は、接続モニターに付属の「取扱説明書」をご覧ください。

受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ



→押すたびに、バンドが切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、放送のあるところに合わせる

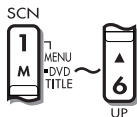


プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

- 1 ダイレクトボタン(1~6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

ご注意

- ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

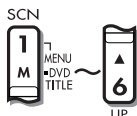
- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(TV1またはTV2)を選ぶ



- 2 サーチボタンの[◀]または[▶]を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

テレビを見る

自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す



→タイトル表示部に「**PRESET SCN**」を表示しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- プリセットスキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プリセットスキャンボタンを押してください。

ビデオを見る

1 アジャストボタンを押し続ける(約1秒間)

SET-UP

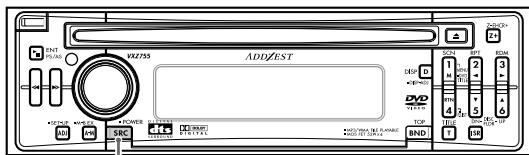


→タイトル表示部に「**VTR**」を表示し、TVモードからVTRモードに切り換わります。

■ TVモードに戻すには…

もう一度、アジャストボタンを押し続けてください(約1秒間)。

携帯用オーディオを聴く(AUXモード)



ソースボタン

AUXモードに切り換える

AUXモードについて…

本機に市販の携帯用オーディオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。別販のCeNET 結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 ソースボタンを押して、AUXモードを選ぶ

■POWER

SRC

→ 押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

ラジオ → (MDデッキ) → DVD → (CDチェンジャー)
↓
AUX → (TV) → (MDチェンジャー) ←

- ・ 接続していない機器のモードは表示されません。

AUXモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、再生されます。

■入力レベルを調整するには…

「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」(97ページ)をご覧ください。

■AUX入力の接続のしかた…

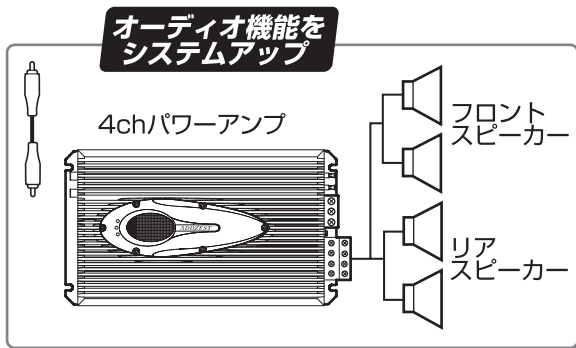
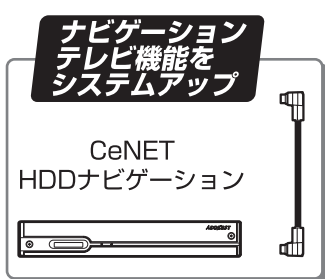
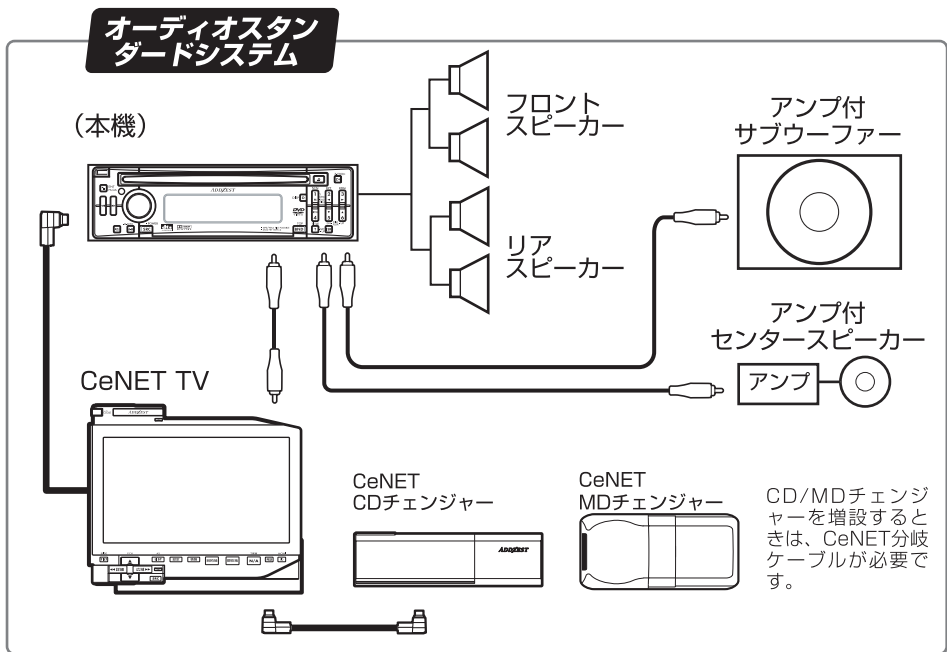
本機のAUX入力RCA ピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。


システムアップについて


本機は**CeNET** マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



 : CeNETケーブル

 : RCAピンコード

CeNETケーブルについて

CeNET 接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET 分岐ケーブル CCA-519 含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■CeNET接続ケーブル長一覧表

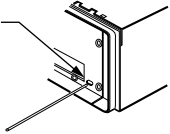
CeNET ケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CD チェンジャー	5m <オス⇔オス>
CeNET MD チェンジャー	5m <オス⇔オス>

別販 CeNET ケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET 分岐ケーブル)	1m <オス×2⇔メス>
CCA-520 (CeNET 延長ケーブル)	2.5m <オス⇔メス>
CCA-521 (CeNET 延長ケーブル)	0.6m <オス⇔メス>

<>内は、コネクタの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現象	原因	処置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
共通	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	[リセットボタン]を、細い棒などで約2秒間押してください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
		音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています。 1. スピーカー機能をご確認ください。 2. 音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで音声出力は復帰します。 3. スピーカー保護回路が動作した場合や、再度短時間で音が出なくなる場合は相談窓口にてご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

	現象	原因	処置
DVD/CD/MP3/WMA	音や映像がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	音がでない	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEO でファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEO でファイルを作成してください。
	プレイリスト演奏ができない	ファイル名またはファイル形式が正しくない	ファイル名は英数/ASCII文字を使用してください。またプレイリストのファイル形式は「.M3U」にしてください。
4スピーカー構成でシステムチェック/スピーカー設定を「5.1ch」に変更したら、DVDの音声が小さくなった	「SP-SEL」のセンタースピーカーおよびサブウーファースの設定が「ON」になっている	スピーカー設定が「5.1ch」の時は、センタースピーカー・サブウーファースを接続してください。スピーカーが無い場合は、必ず「SP-SEL」(75ページ)で対応するスピーカーの設定を「OFF」にしてください。	
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー内容	原因	対処方法
DVDモード	ERROR 2	DVDメカニズムの故障とされます	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR 3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ピックアップ部に不具合があり、演奏できないときの表示	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR 6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR R	ディスクのリージョンコードが合っていないときの表示	正しいリージョンのディスクを使用してください。
ERROR P	視聴制限がかかっているときの表示	視聴制限を解除してください。または、レベルを変更してください。→「パレンタルレベルを設定する」の項を参照してください。	
CDチェンジャーモード	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示		録音されているディスクと交換してください。	
MDチェンジャーモード	ERROR2	MDチェンジャー内のメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外エラーが表示されたときは、110ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

■DVDプレーヤー部

使用可能ディスク	: DVDビデオ、CD、ビデオCD
周波数特性	: 20Hz~44kHz (DVD LPCM96k) 20Hz~20kHz(CD)
SN比	: 100dB(1kHz)IHF-A
ダイナミックレンジ	: 100dB(1kHz)
高調波ひずみ率	: 0.01%

■FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz~90.0MHz
実用感度	: 9dBf
50dBクワイテイング感度	: 15dBf
SN比	: 70dB
周波数特性	: 30Hz~15kHz±3dB
分離度	: 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率	: 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数	: 522kHz~1,629kHz
実用感度	: 28dB μ V
SN比	: 50dB

■MP3部

MP3デコード	: MPEG-1、オーディオレイヤー3準拠
サンプリングレート	: MPEG-1 : 32kHz, 44.1kHz, 48kHz MPEG-2 : 16kHz, 22.05kHz, 24kHz
ビットレート	: MPEG-1 : 32k~320kbps/VBR MPEG-2 : 8k~160kbps/VBR
セクタ構造	: CD-ROMモード1、モード2-フォーム1(自動判別)
論理フォーマット	: IS09660レベル1、2/JOLIET/ROMEO
フォルダ構造	: 8階層
フォルダ数	: 最大255
ファイル数	: 最大999
ファイル名	: 62byte(1byte文字で62文字)
フォルダ名	: 最大62byte(1byte文字で62文字)

■AUX部

入力感度	
LOW	: 625mV(2.0V出力時)
MID	: 1.25V(2.0V出力時)
HIGH	: 2.0V(2.0V出力時)

■オーディオ部

定格出力	: 18W×4(20Hz~20kHz、1%、4 Ω)
最大出力	: 52W×4
適合インピーダンス	: 4 Ω (4 Ω ~8 Ω)
2バンドEQ	: BASS(60/100/200Hz): ±12dB TREBLE(10k/15kHz): ±12dB
マグナベースEX	: +10dB(50Hz) (音量ステップ 14)
ラインアウト出力レベル	: 2.0V(CD1kHz)

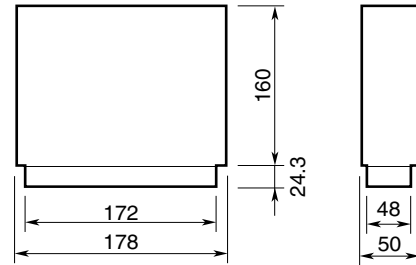
■Zエンハンサープラス部

Zエンハンサープラス(5モード)	: BASS BOOST / IMPACT / EXCITE / CUSTOM / Z+ OFF
------------------	--

■共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A(1W時)
ヒューズ定格	: 15A/3A
外形寸法 本体部	: 178(W)×50(H)×184.3(D)mm [取付寸法: 160(D)mm]
リモコン部	: 54(W)×155(H)×27(D)mm
質量 本体部	: 1.6kg
リモコン部	: 100g(電池含む)

●本体部



■付属品

取扱説明書 1部
取付説明書 1部
修理相談窓口リスト 1部
保証書 1部
電源コード 1本
RCAコード 1本
セムス六角ボルト 5本
サラネジ(M5×8) 4本
DCPケース 1個
リモコン(RCB-171) 1個
電池(単3形) 2本
絶縁キャップ 10個

*これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。なお、弊社サービスセンターから代替品(リンク品)を直接取り寄せる「ダイレクトエクスチェンジシステム」を取扱っている販売店がございます。

修理納期の短縮等、お客様にとって魅力あるサービスシステムとなっておりますので、販売店へご確認ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2

お客様相談室 TEL. **0120-112-140** (フリーダイヤル)

(土・日・祝・祭日を除く9:00~12:00、13:00~17:30)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ……ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。